

## 産業廃棄物処理業 優良性評価制度に関する調査結果（排出事業者対象）

### 1. 調査目的

本制度の認知度や活用状況、現在取引している処理業者の本制度取組みの有無、処理業者比較検討の方法とその信頼性の自己評価、比較検討時の対象処理業者数、業者選定の社内決定プロセス、情報開示内容や制度に対する要望等について情報収集し、今後の優良性評価制度のあり方や方向性検討のための判断材料とする。

### 2. 対象及び期日

#### (1) アンケート対象；

総務省が実施した平成 16 年度事業所・企業統計調査に回答された事業者で、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運送業、医療・福祉・試験研究所等に属する企業のうち、業種・事業者数・地域・資本金規模の構成比率が全体と同じになるように抽出した事業者（本所及び単独事業所）3,000 社

産業大分類	抽出件数
建設業	1,331
製造業	1,263
電気・ガス・熱供給・水道業	2
情報通信業	138
運輸業	218
医療、福祉	48
合計	3,000

#### (2) アンケート期間；平成 19 年 11 月 19 日（月）～12 月 7 日（金）

#### (3) アンケート回収状況；

回収数 428 社／発送数 3,000 社 回収率 14.3%

有効回答数 397 社／発送数 3,000 社 回収率 13.2%

宛先不明 177 件／発送数 3,000 社

□ アンケート回答者プロフィール；

アンケート回答者の従業員規模別分布を図1に示す。

建設業、医療・福祉・試験研究所等、電気・ガス・熱供給・水道業は小規模に、製造業、情報通信業、運輸業は大規模に、比較的多く分布している。

図1の業種毎のN数は、アンケート回答者が回答票に自己申告で記した業種であり、p1アンケート対象の抽出件数と異なる。

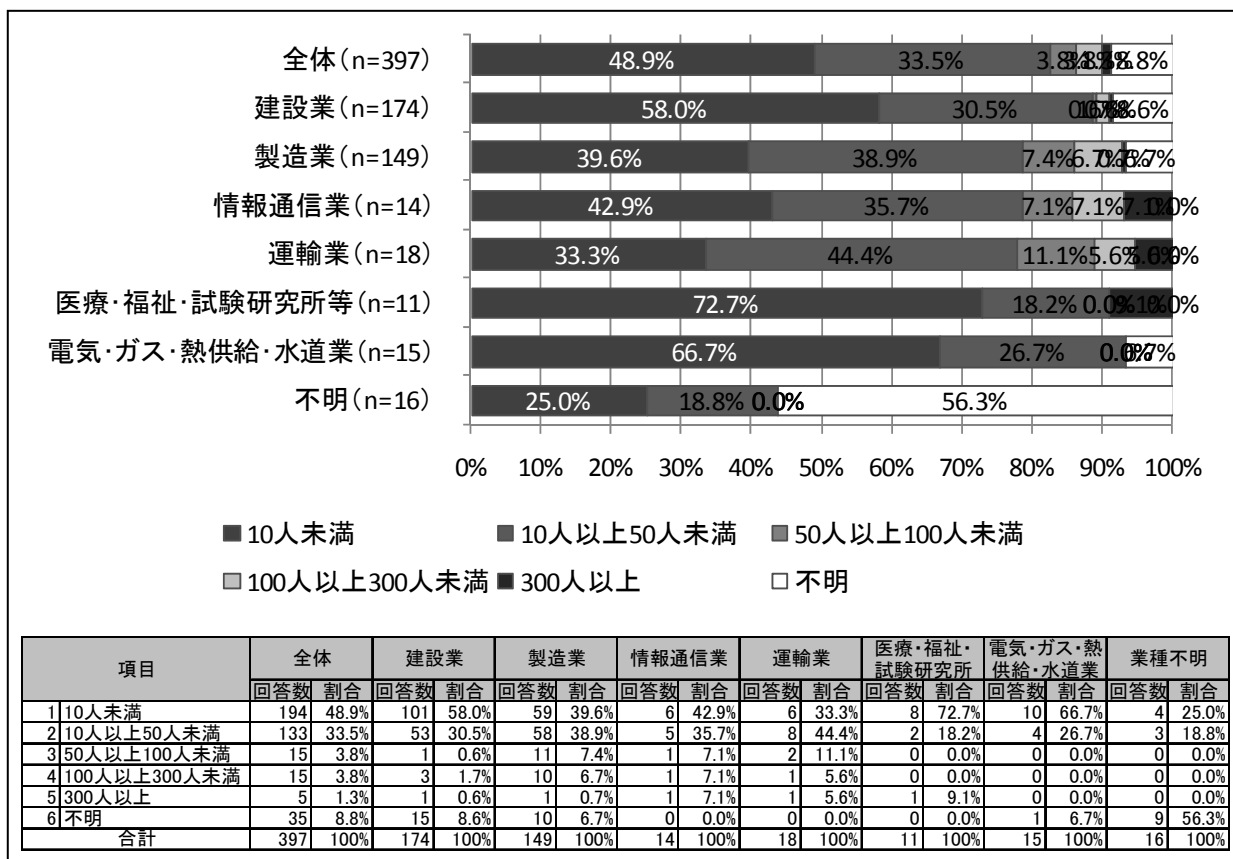


図1 アンケート回答者業種別の従業員規模分布

### 3. アンケート回答の概要

#### □ 産業廃棄物処理の委託の状況について

Q1. 産業廃棄物の処理を定常的に委託している処理業者数は、およそいくつありますか？  
収集運搬業者と処分業者に分けて、お答えください（数字を記入）。

◆ 定常的に委託している処理業者数は「1社」との回答が最も多く、業者数が増すほど回答は減る。

有効回答数 397 件中、収集運搬業については、「1社」で 45.6%、「1社」・「2社」合わせて 64.2%、処分業については「1社」で 34.5%、「1社」・「2社」合わせて 50.1%ある。業者数は収集運搬業者数よりも処分業者数のほうが多く、排出事業者は収集運搬の委託先を絞り、一方、処分先は廃棄物種類等により多種に広がっていることが伺える。

◆ 排出事業者の業種別にみると、収集運搬業については運輸業と建設業が、処分業については建設業が複数業者に委託している傾向が見られ、地域で面的に事業を行うこれら業種の特質等を反映したものと見られる。

◆ 従業員規模別にみると、規模が大きいほど取引業者数が増える傾向にある。

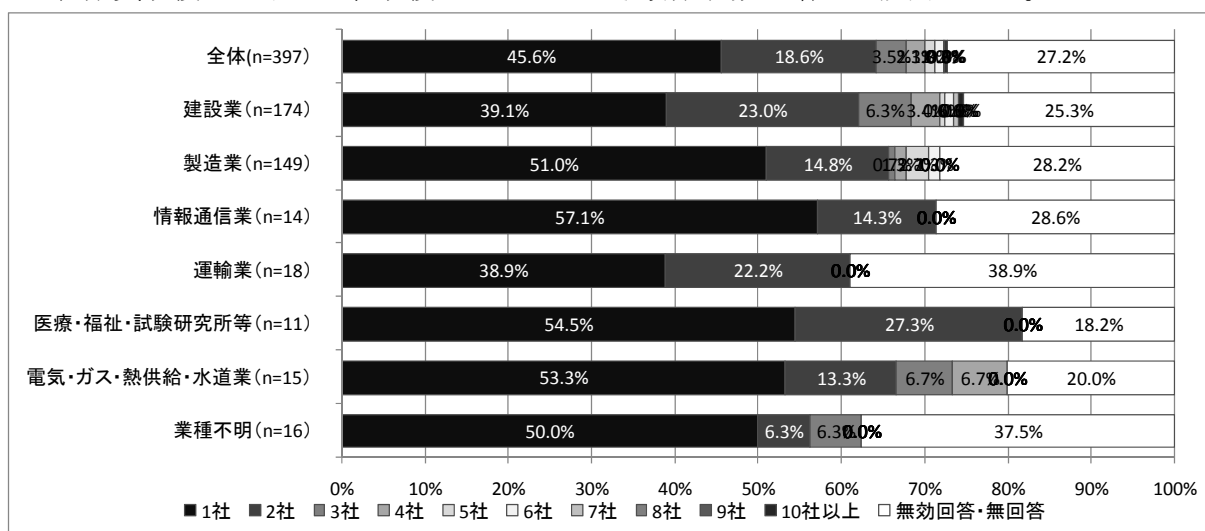


図2 定常的に委託している収集運搬業者数（業種別）

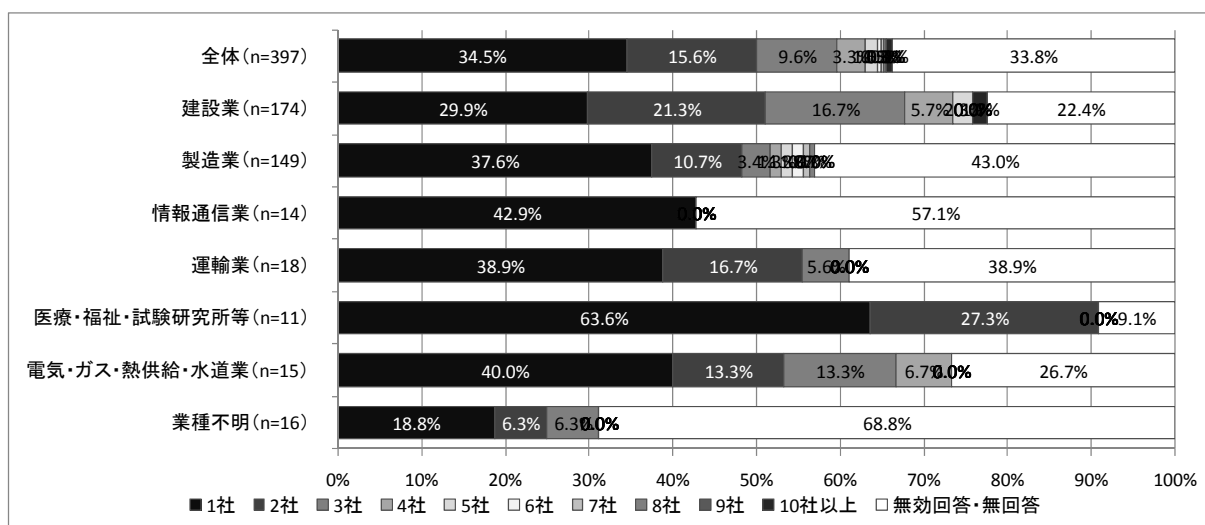


図3 定常的に委託している処分業者数（業種別）

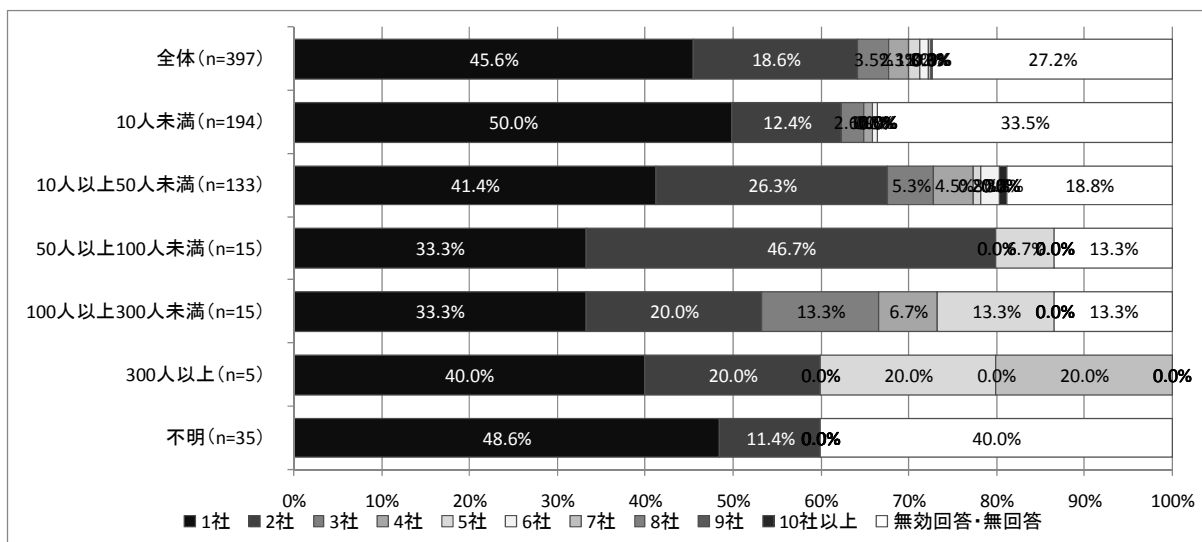


図4 定常的に委託している収集運搬業者数（従業員規模別）

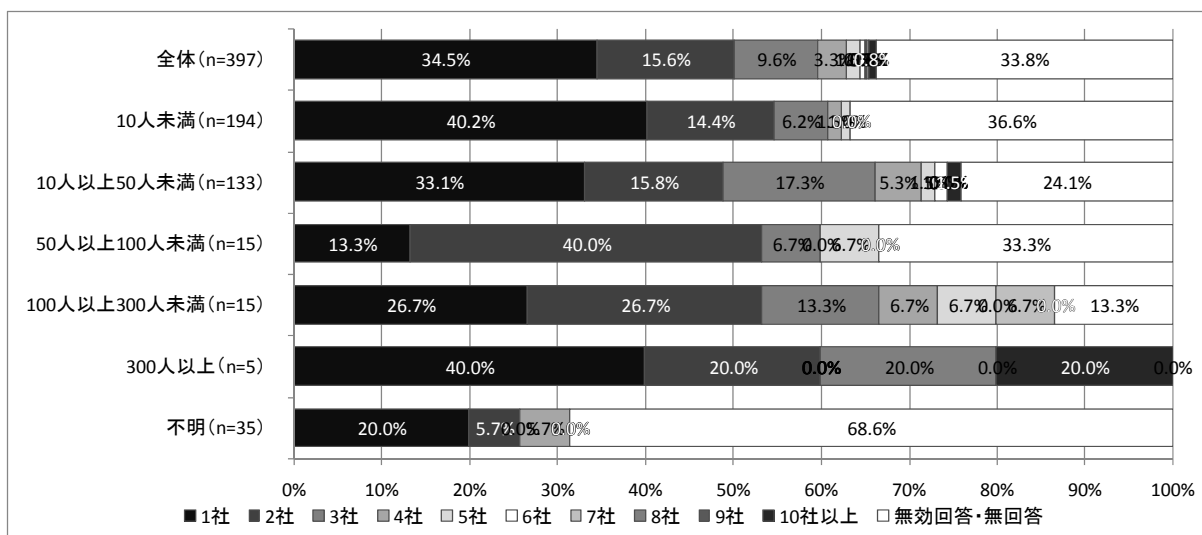


図5 定常的に委託している処分業者数（従業員規模別）

Q2. Q1の合計業者数のうち、3年以上委託している業者はどの程度ありますか？（ひとつだけ）

◆ 3年以上委託している業者が「ほとんど（8～9割程度）」という回答が69.8%、「およそ半分」が6.8%、「全体の3割程度」が1.3%、「全体の2割以下程度」が2.3%ある。この結果から、排出事業者は、定常的に委託している処理業者と、多くの場合3年以上継続して委託しており、3年以内に委託業者が変わるケースは17%程度あると推定される（ $17\% \div 0.15 \times 69.8\% + 0.5 \times 6.8\% + 0.7 \times 1.3\% + 0.8 \times 2.3\%$ ）。

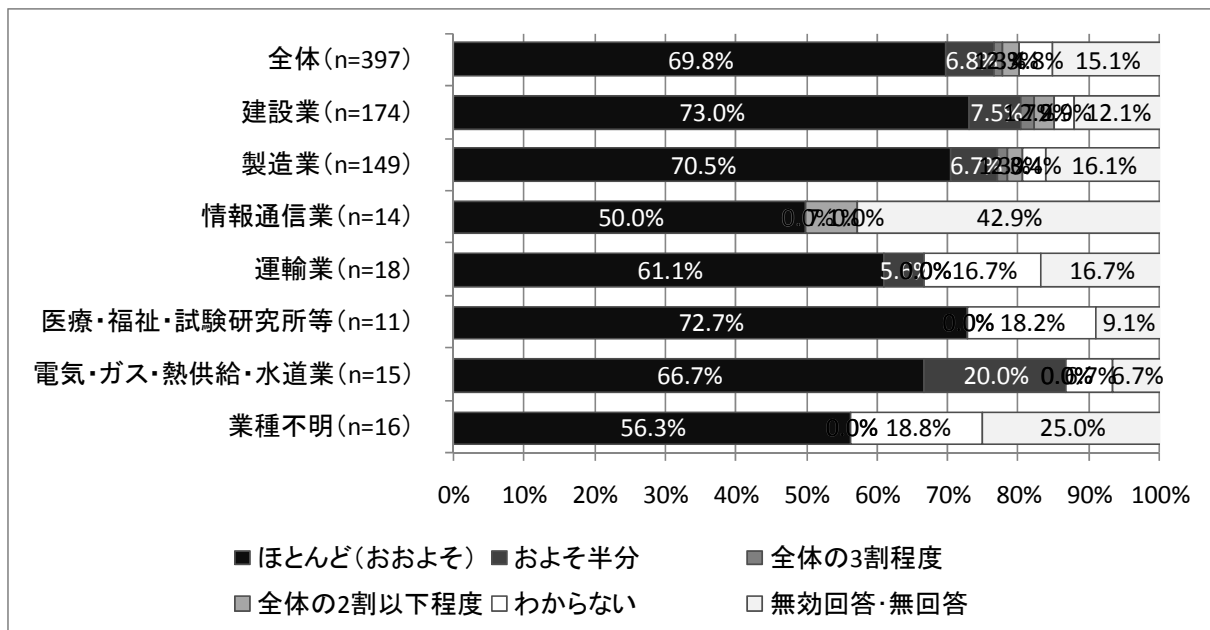


図6 3年以上委託している業者の割合（業種別）

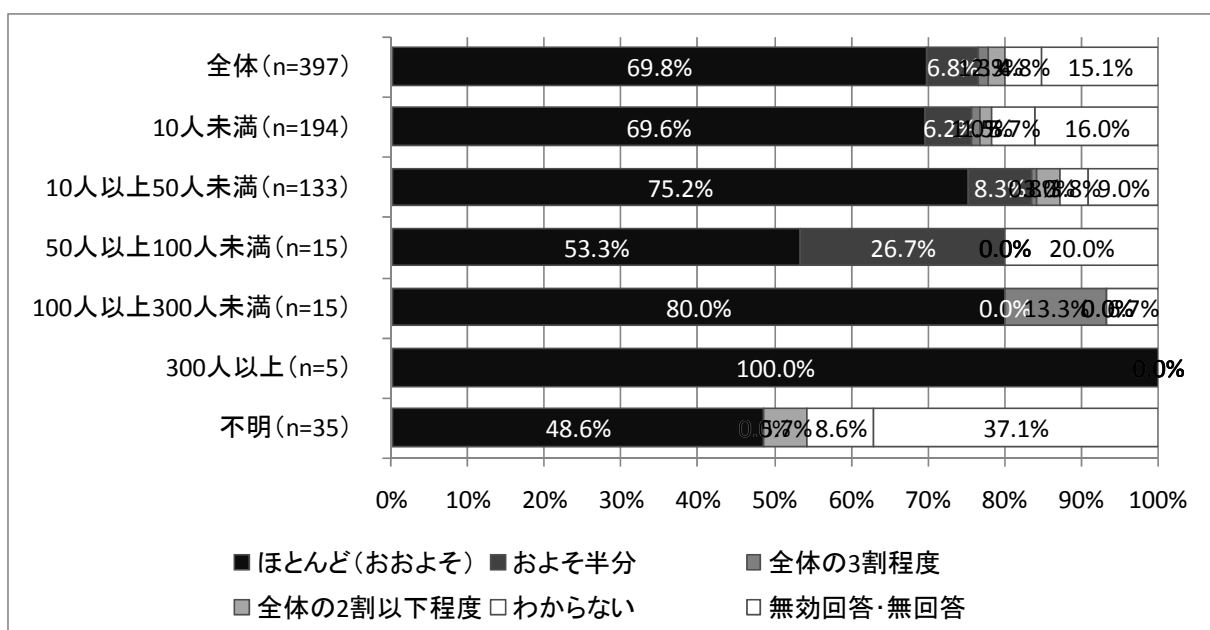


図7 3年以上委託している業者の割合（従業員規模別）

Q3. 最近3年以内に取引を中止した処理業者はありましたか？ あった場合は、その理由について、お聞かせください。(複数回答)

- ◆ 「最近3年以内に取引を中止していない」との回答が約7割(74.1%=294社/全有効回答397社)あり、約3割(103件)が最近3年以内に取引を中止していることになる。
- ◆ 取引を中止した理由(多い順)は、103社のうち、15社(11.9%)が「処理料金が高かった」で、このほか、「廃業または許可取消しとなった」が5社(3.9%)、「最終処分のルートが不明確だった」が3社(2.3%)等である。  
「その他」の理由として、「許可期限が切れているのに受入を行った為」、「倒産」、「リサイクル対応ができないため」、「警察の立入検査が入った」等の自由記述があった。

表1 取引中止の有無と取引を中止した理由

項目		回答数
1	取引中止していない	294
2	取引を中止した	103
取引を中止した理由(複数回答)		
1	処理料金が高かった	18
2	その他	7
3	廃業または許可取消しとなった	5
4	最終処分のルートが不明確だった	3
5	営業停止等の行政処分を受けた	2
6	運転手や営業担当者等の対応が悪かった	1
7	電子マニフェストに加入していない	1

Q4. 現在処理を委託している業者について、満足していない業者がある場合、その理由をお聞かせください（複数回答）。

◆ 「現在処理を委託している業者に不満や不安を感じていない」との回答が半分強（62.2%=247社/全有効回答397社）あり、満足していない業者があるとの回答が4割程度ある。

◆ 満足していない理由（多い順）は、150社のうち、93社（62.0%）が「処理料金が高い」で、このほか、「最終処分のルートが不明確」が9社（6.0%）、「リサイクルのルートが不明確」が7社（4.7%）等である。

なお「その他」の自由記述は、「親会社に依頼」、「相互信頼を構築している」など多くは不満や不安を感じていない理由等の記述であった。

表2 不満や不安の有無と不満や不安の理由

項目		回答数
1	不満や不安を感じていない	247
2	不満や不安を感じている	150
不満や不安の理由(複数回答)		
1	処理料金が高い	93
2	その他	11
3	最終処分のルートが不明確だった	9
4	リサイクルのルートが不明確だった	7
5	運転手や営業担当者等の対応が悪かった	4
6	廃業または許可取消しとなった	2
7	不適正処理や不法投棄等に関与した	2
8	その他の環境法令違反をした	2
9	事業場の維持管理の状態が悪かった	2
10	優良性評価制度の適合確認を受けていない・情報公開をしていない	2
11	営業停止等の行政処分を受けた	1
12	電子マニフェストに加入していない	1

□ 処理委託の際の確認や事務について

Q5. 新たな処理業者に処理委託する際には、事前にその処理業者の事業場を訪問して現地確認するようにしていますか？（ひとつだけ）

◆ 「事業場を確認することになっている」との回答が 22.2%、「特に確認しない」との回答が 68.0%であった。業種別に見ると、「事業場を確認することになっている」としたのが、建設業で約 3 割（29.9%）と最も多かった。従業員規模別にみると、（n 数が少ないものの）300 人以上の規模において確認している割合が高い。

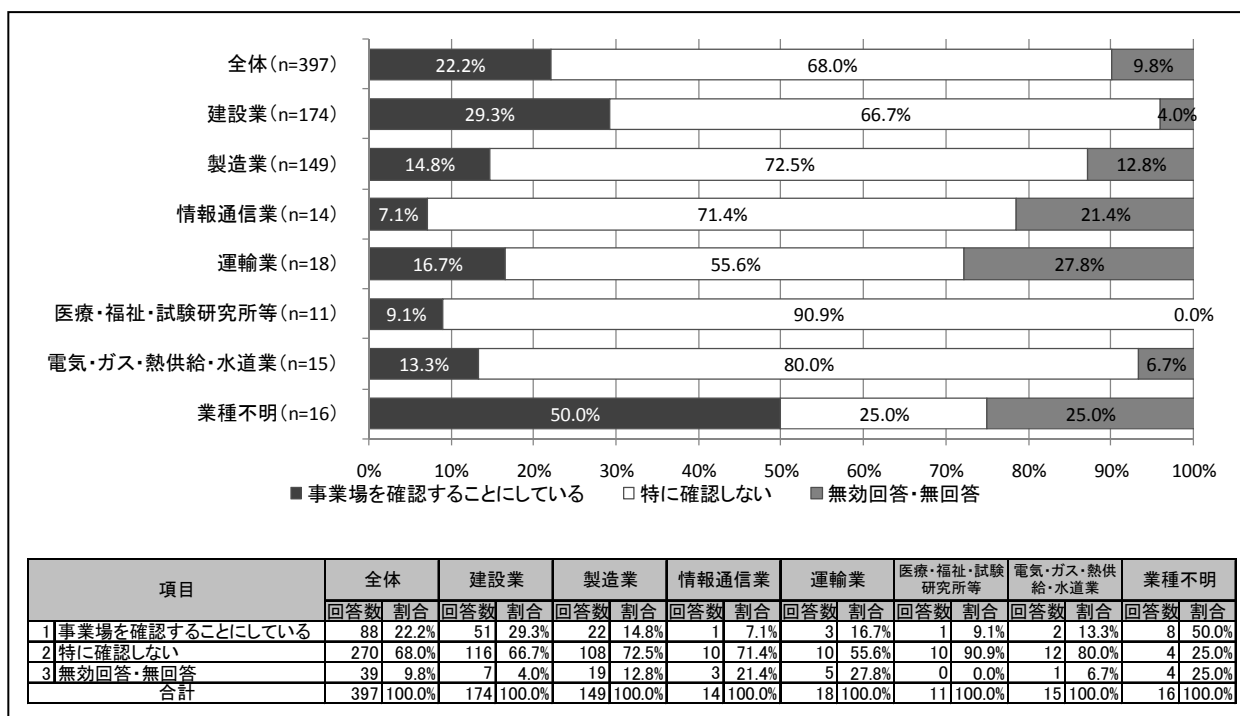


図 8 処理業者との新規取引時における事業場への訪問確認の有無について（業種別）

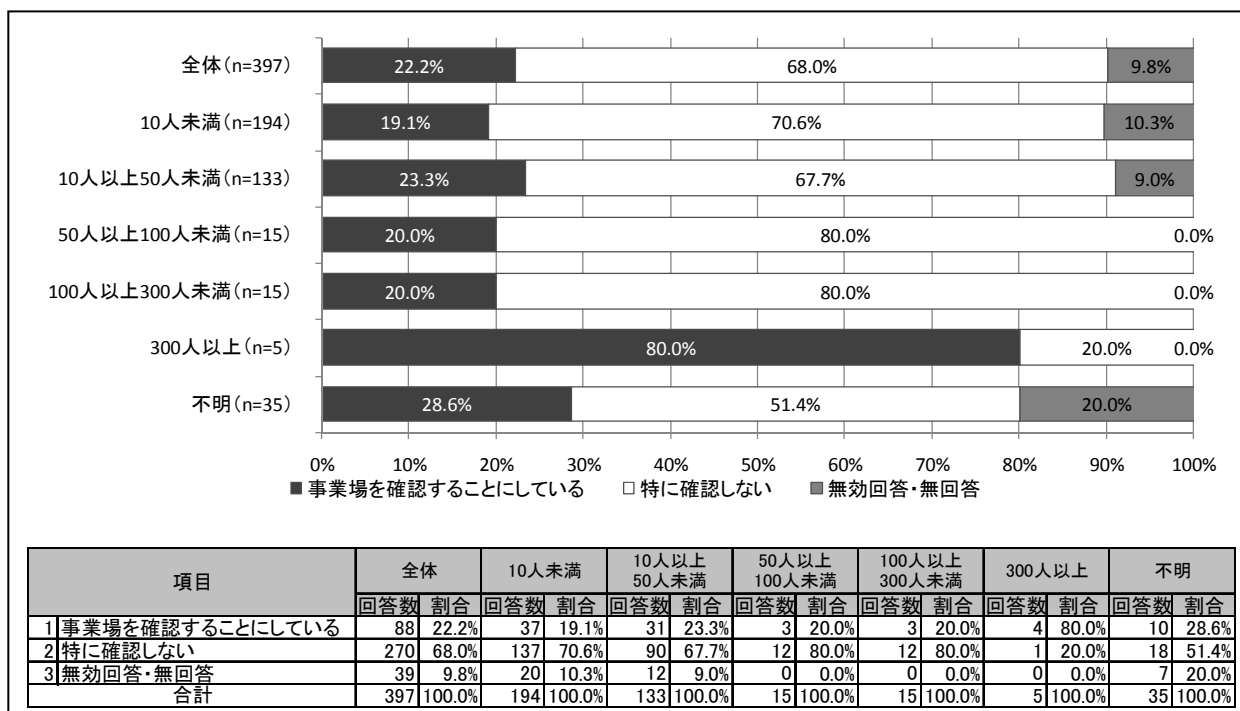


図 9 処理業者との新規取引時における事業場への訪問確認の有無について（従業員規模別）



Q6. すでに委託している処理業者に対して、定期的に事業場を訪問して現地確認するようにしていますか？（ひとつだけ）

◆ すでに委託している処理業者に対して、「1年に1回以上は訪問して確認している」との回答が13.6%、「数年に1回訪問して確認している」が9.6%、「特に確認しない」が67.0%であった。業種別に見ると、「1年に1回以上は訪問して確認している」との回答が、建設業、電気・ガス・熱供給・水道事業で約2割程度と多い。従業員規模別にみると、(n数が少ないものの)300人以上の規模において確認している割合が高い。

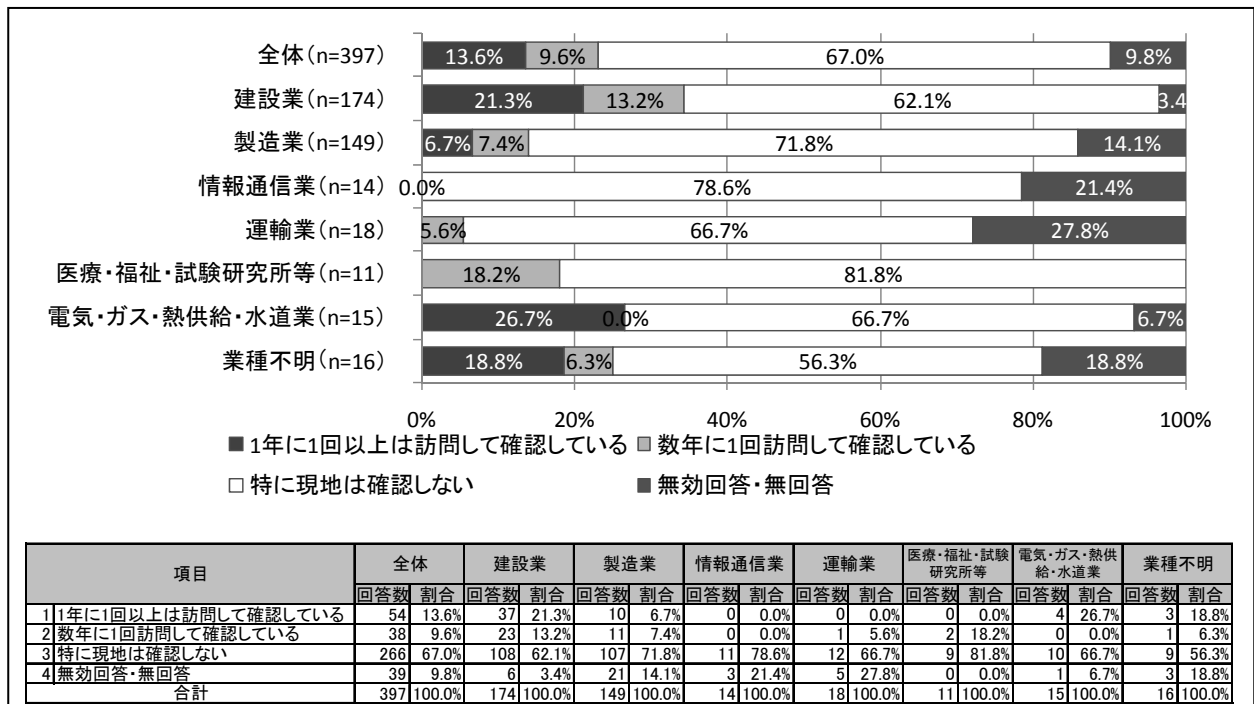


図10 定期的な事業場への現地確認の有無について（業種別）

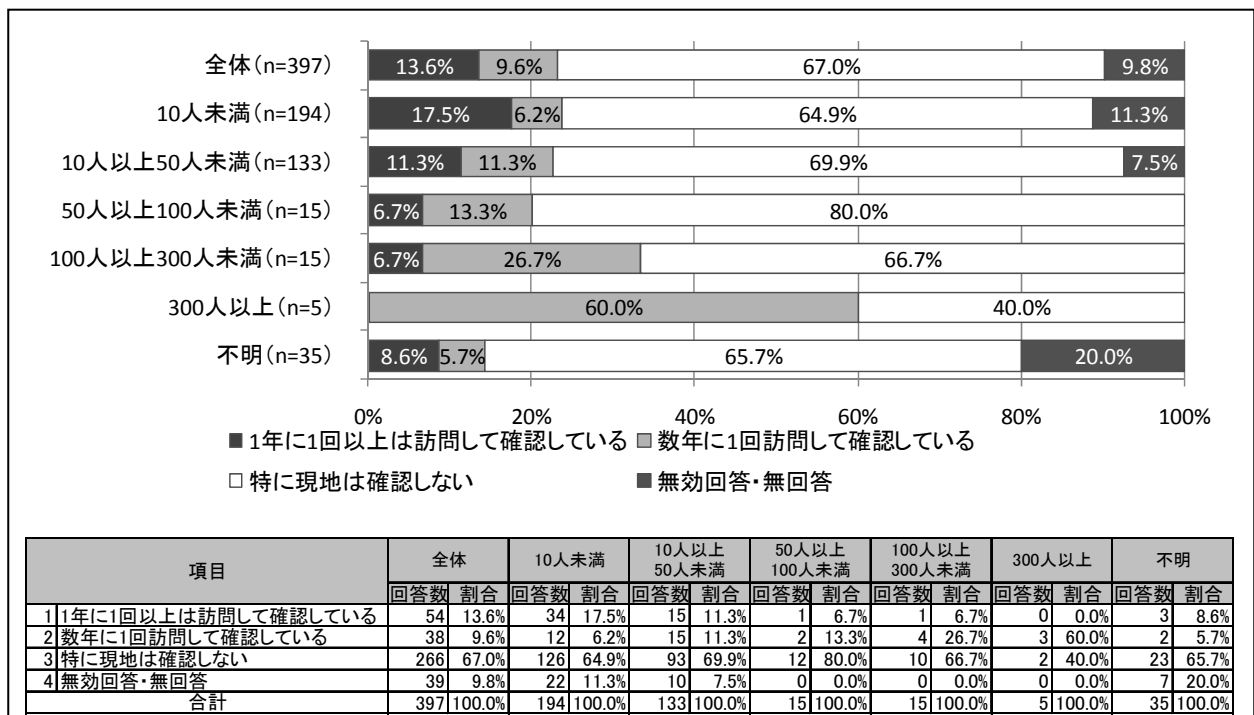


図11 定期的な事業場への現地確認の有無について（従業員規模別）

Q7. Q5,6で事業場を訪問して現地確認している方にお聞きしますが、どのような点について確認していますか？（自由記述）

◆ 事業場を訪問して現地確認している方に、どのような点について確認しているか聞いたところ、下記項目の確認点が挙げられた。（多い順）

- ①分別・リサイクル・処理方法（18件）
- ②整理整頓・衛生管理・従業員マナー・教育（17件）
- ③運搬（経路）・荷降ろし・保管（9件）
- ④施設・維持管理（8件）
- ⑤処理ルート（6件）
- ⑥許可（4件）
- ⑦場所の確認（3件）
- ⑧事務処理状況（2件）
- ⑨全般（2件）
- ⑩その他（13件）

**①分別・リサイクル・処理方法（18件）**

- 工場へ行って確認して来た事。私達が27分別しています。それを工場で58分別をしています。
- 官公庁工事の場合、確認し、写真等添付が必要なため経路、分別状況等
- ちゃんと別々に分けているよう。
- 分別方法
- リサイクル
- 仕分け、種類別の処理がされているかどうか確認する。
- 処理業者さんがきちんと区分けしているかどうかは現地に行けばわかる
- ・コンクリートガラの再生状況 ・木類の焼去処分状況 ・混合材の分別状況
- 数社より産廃がどの様なものにリサイクルされているか、又、リサイクル出来ないものの処分は適正に処理されているか。
- 処理場の状態（分別）
- 適切な処分（運搬業者）をしてもらって（いただいて）いるか
- 仕事の流れ
- きちんと再処理されている
- 産廃場での処理が適正に行われているか？可能な限り自分の目で見て、自社で出した産廃がどの様にリサイクルされているか知りたかったので。
- 受入態勢 処理方法の確認
- 処理方法の実態確認
- 処理状況
- 処理能力、最終処分場、処分方法

**②整理整頓・衛生管理・従業員マナー・教育（17件）**

- 施設の状況（囲いの状況、出入口扉施錠、施設の表示、排水処理施設、床の浸透性）、

維持管理状況（廃棄物飛散・流出、悪臭の発生、騒音・振動の発生、放流水の水質検査、ばい煙測定結果、炉の温度管理状況、無害化証明記録、マニフェスト管理）

- 会社の整理が行き届いているか
- 処分地の環境
- 処理場の清掃等
- 場内整頓、環境他 社員の対応など
- 清潔に作業しているか
- 従業員のマナー対応 処理場自体の5S状態
- 整理整頓他
- 整理整頓して、きれいにしているか！ あいさつしているか！
- 会社の雰囲気、整理整頓状況、社員の対応
- 処理場での処理品の量や工場の整理度
- 設備、場内の清掃度、環境の配慮度、従業員の言葉使い
- 事務所内外の従業員行動
- 処理場内の環境
- 敷地内に廃棄物が散乱していないか
- 処分場外観、社屋、保有施設の破損、汚れの有無
- 有資格者、教育

#### ③運搬（経路）・荷降ろし・保管（9件）

- 産廃を自社トラックで運搬するので毎回見ている。きちんと分別している様子を確認している。
- 排出現場から受け入れ場所への距離（ルート）の確認と受け入れ場所内に廃棄物をおろす場所の確認
- 廃棄物置場の確認
- 搬入経路
- 産業廃棄物の置場の確認
- 分別場所の明確さ 現時点での集積量 集積物の混合の有無
- 分別場所 保管場所 処理施設等
- 未処理廃棄物が残されていないか？
- 産廃物の種分け場（分離状況） 敷地外への飛散防止の有無

#### ④施設・維持管理（8件）

- 処理能力及び施設
- 処理場の状態、処理の状況
- 設備の老朽度
- 処理場所の容量の確認
- 施設内等の管理状況（施設配置図との比見） 施設内等の処理フローとの確認
- 施設の維持管理
- 処理方法 処理場
- 所在地 設備 処理フロー

⑤処理ルート（6件）

- 最終処分場の確認、リサイクル
- 最終処分場
- 最終処分の状況等
- 全体的な廃棄物処理の流れと最終処分状況
- 処分状況
- 処理フローの明確性

⑥許可（4件）

- 許可の確認
- 許可証と県の検査の様子を聞く
- 許可証
- 許可の期間

⑦場所の確認（3件）

- 場所の状況のみ、自分で運搬していく
- 処理する場所
- 立地場所（現場からの距離等） 処理能力

⑧事務処理状況（2件）

- 事務処理状況
- 伝票確認

⑨全般（2件）

- 処分、再生処理が適正に行われているか。それが契約したとおりの処分であることを一番のポイントとして現地確認。他に廃棄物の保管状況、財務状態等の説明を受ける。
- i. 未処理の廃棄物が野積みになっていないか ii. 周辺住民に迷惑をかけていないか iii. 安全性はどうか 標示などを行っているか iv. 整理整頓がされているか v. 排水、排気はどうなっているか

⑩その他（13件）

- 以前（前回）にくらべ全体的な様子等で劣っている点が無いか、変わった点がないか。
- 業種間（製造）での見学会にて現地確認をしている。
- 月に2回位は処理場に行っています
- 自ら処分の車を運転して処分しに行くのでたまたま現地確認しているので特に気にしていない。
- 自社で収集運搬することが多い為
- 会社の車で処理する時
- 自社運搬がほとんどなので現地の分別状況により、事業所の管理状況が確認出来る
- Q5の新たなという業者ではなく、いつもの業者さんへ持って行った際、様子を見ている
- 現状（実状）を確認するのみ
- 目視

- 中間処理場などで特にない。主に打合せ等のため訪問
- 料金の確認
- 今度 I S O 14001 認証取得に向け活動している為

Q8. 産業廃棄物の処理を委託する際には、処理業者と契約書を締結していますか？（ひとつだけ）

◆ 処理の委託の際に、処理業者と契約を「必ず締結している」との回答が 50.1%、「おおよそ締結している」が 11.6%、「あまり締結していない」が 17.6%あり、法律の周知徹底の必要性が浮かびあがった。なお、有償売却の場合を含めて回答されている可能性もあり、この結果を見るときには注意が必要である。業種別に見ると、建設業、医療・福祉・試験研究所等で「必ず締結している」とする割合が高い。従業員規模別にみると、300人以上の規模において「必ず締結している」との回答が 100%（n=5）であった。

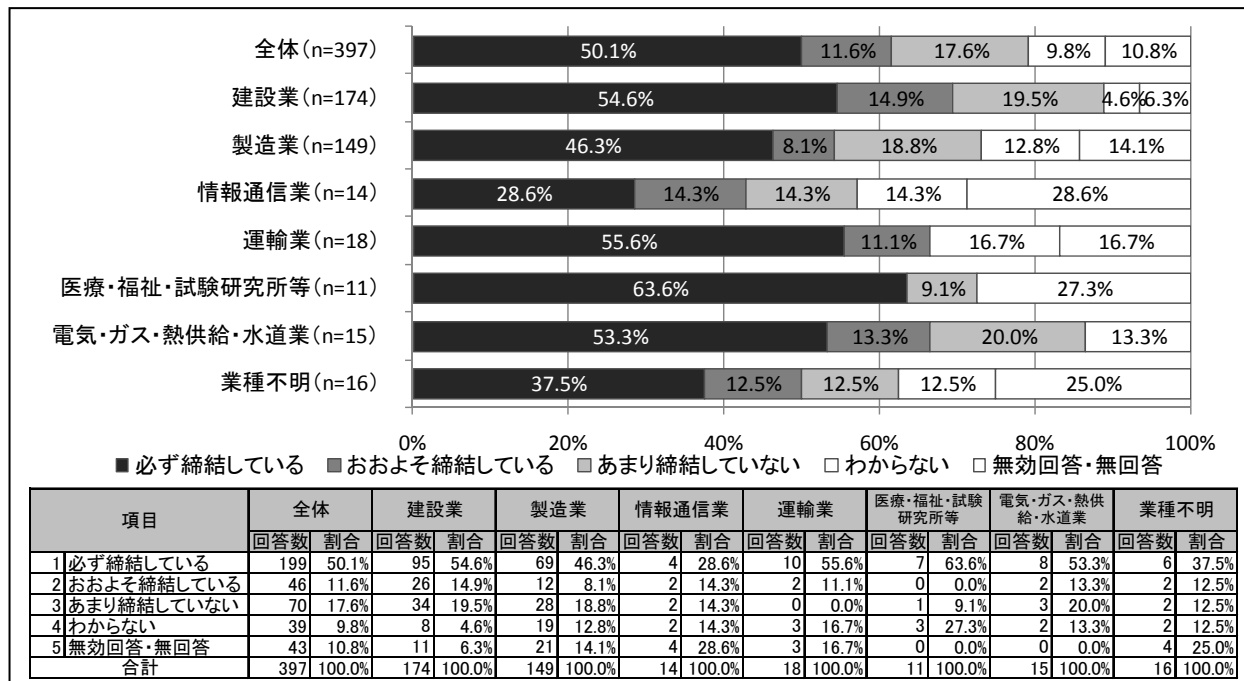


図 12 処理委託時の契約書の締結の有無について（業種別）

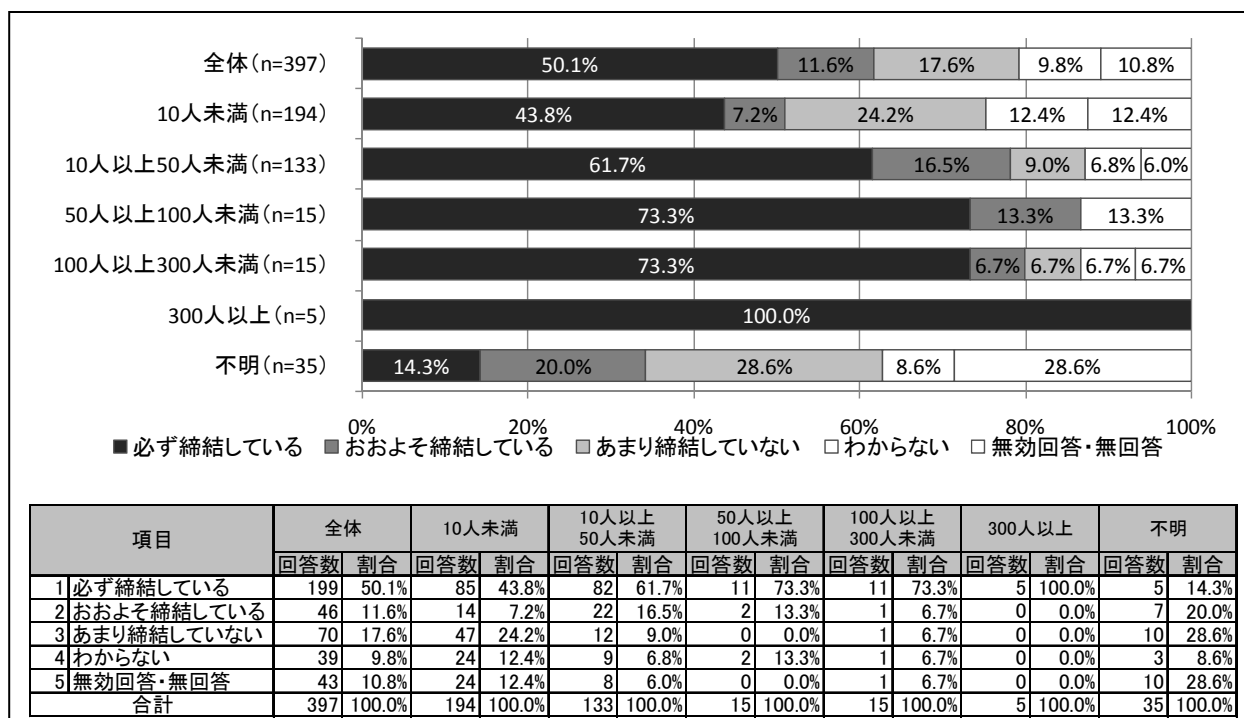


図 13 処理委託時の契約書の締結の有無について（従業員規模別）

Q9. 処理業者と契約書を締結している場合、収集運搬業者と処分業者のそれぞれと契約書を締結していますか？

◆ 「二者契約」の締結状況について聞いたところ、「必ず別々に締結している」との回答が28.0%、「おおよそ別々に締結している」が8.6%、「あまり別々に締結していない」が5.3%であり、Q8同様、法律の周知徹底の必要性が伺えた。なお、契約書1種で2者契約となる記載方法も存在し、これについて「別々に契約していない」とは言えず、質問が明確ではなかったことから、結果を見る際には注意が必要である。

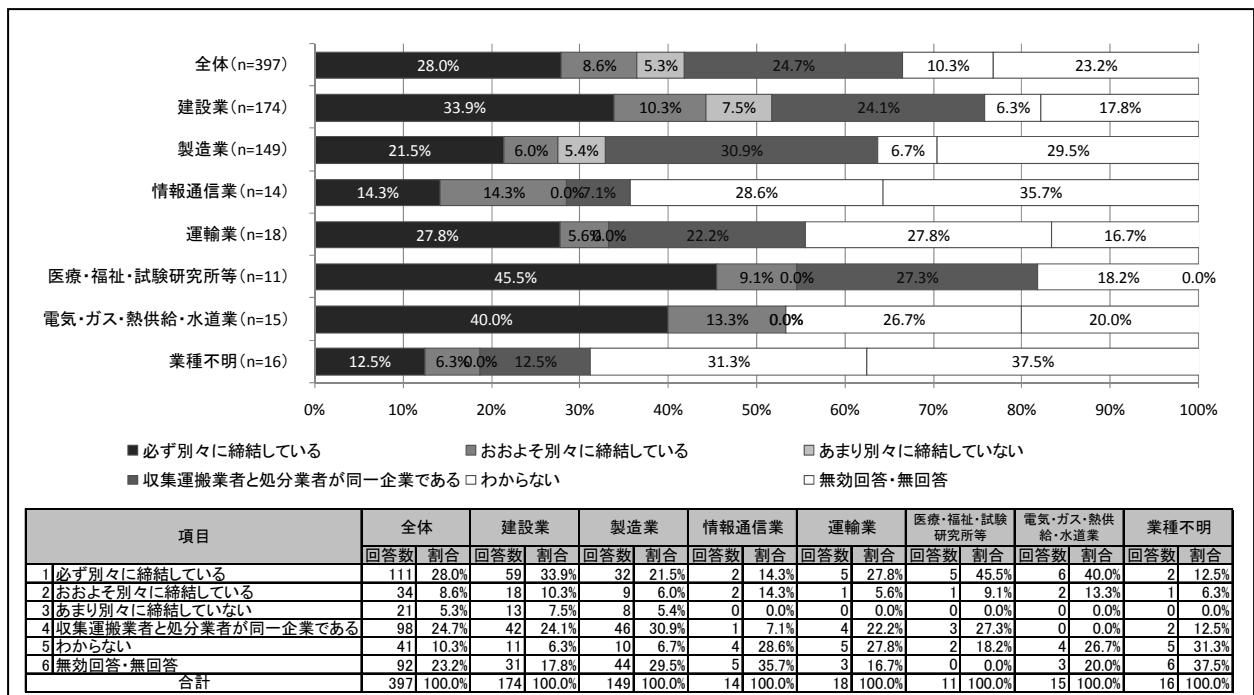


図14 収集運搬業者と処分業者との二者契約の締結の有無について（業種別）

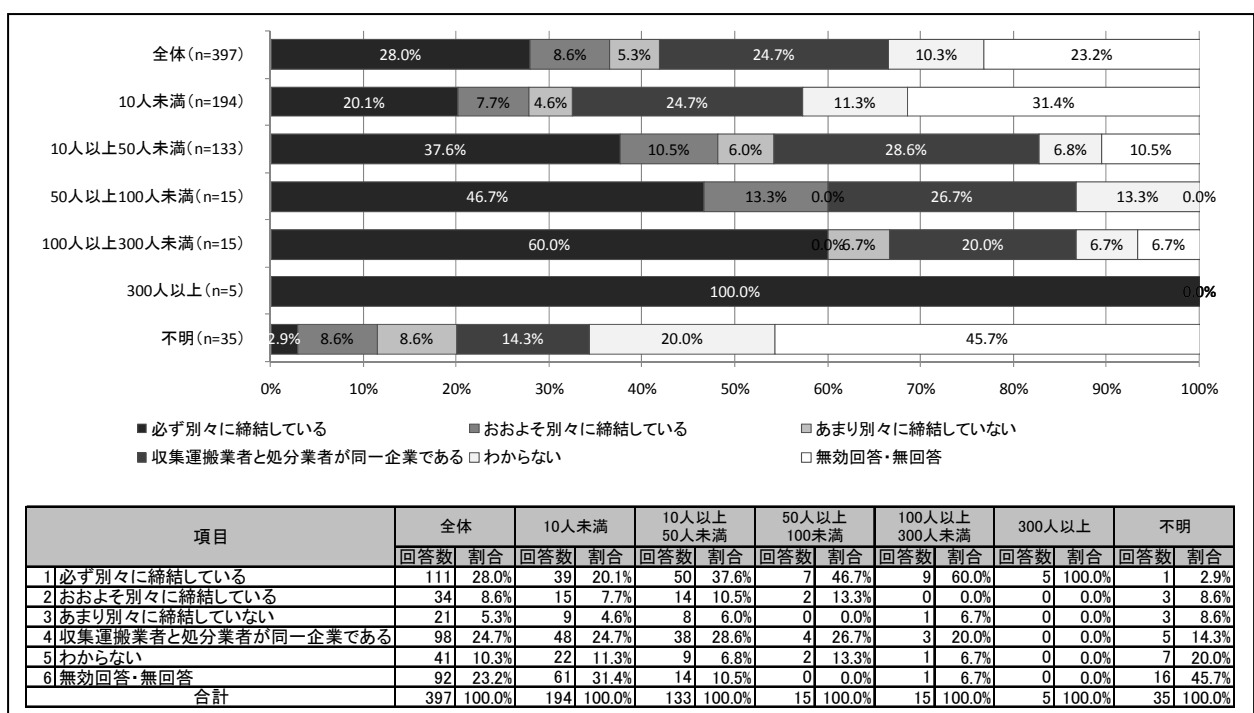


図15 収集運搬業者と処分業者との二者契約の締結の有無について（従業員規模別）

Q10. 処理料金の支払いについて、収集運搬業者と処分業者が別事業者の場合は、個別に支払いをしていますか？

◆ 個別支払の実施状況について聞いたところ、「すべて個別に支払っている」との回答が28.0%、「おおよそ個別に支払っている」が5.3%、「あまり個別に支払っていない」が9.1%であった。業種別に見ると、建設業、電気・ガス・熱供給・水道事業等で「すべて個別に支払っている」との回答が多い。

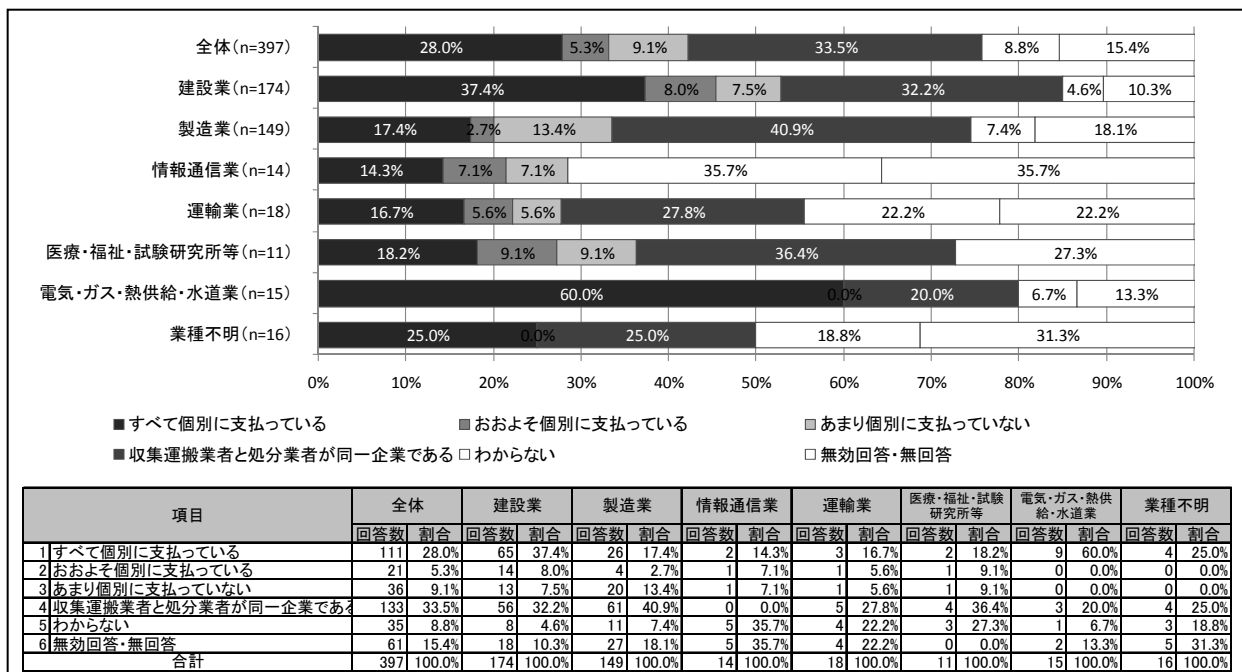


図16 収集運搬業者と処分業者への個別支払いの有無について（業種別）

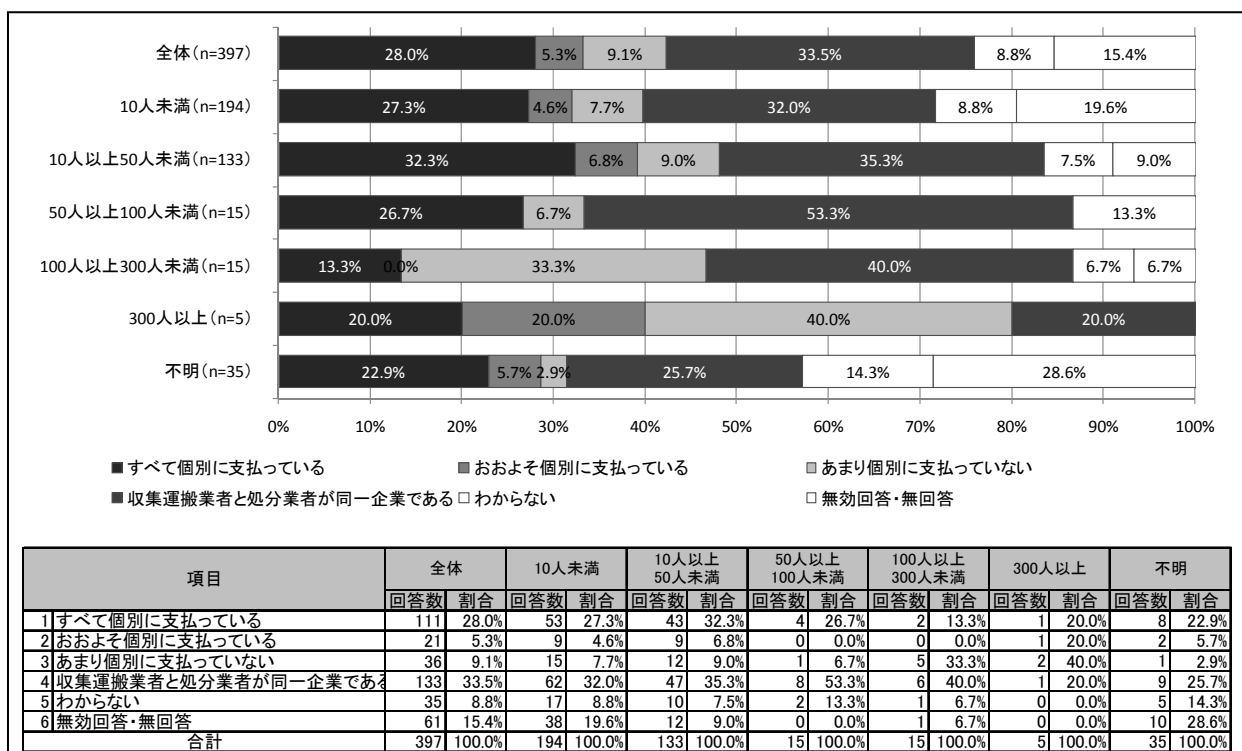


図17 収集運搬業者と処分業者への個別支払いの有無について（従業員規模別）



Q11. 処理委託した産業廃棄物の最終処分終了確認が、期間内に行われなかった事例がありますか？（ひとつだけ）

◆ 処理委託した産業廃棄物の最終処分終了確認が、期間内に行われなかった事例があると回答が、本アンケートの業種全体で 12 件（3.0%）であった。業種別に見ると、建設業で 3.4%、製造業で 2.7%、運輸業で 4.0%、電気・ガス・熱供給・水道事業等で 6.7% など一定の頻度で発生していることが伺われる。

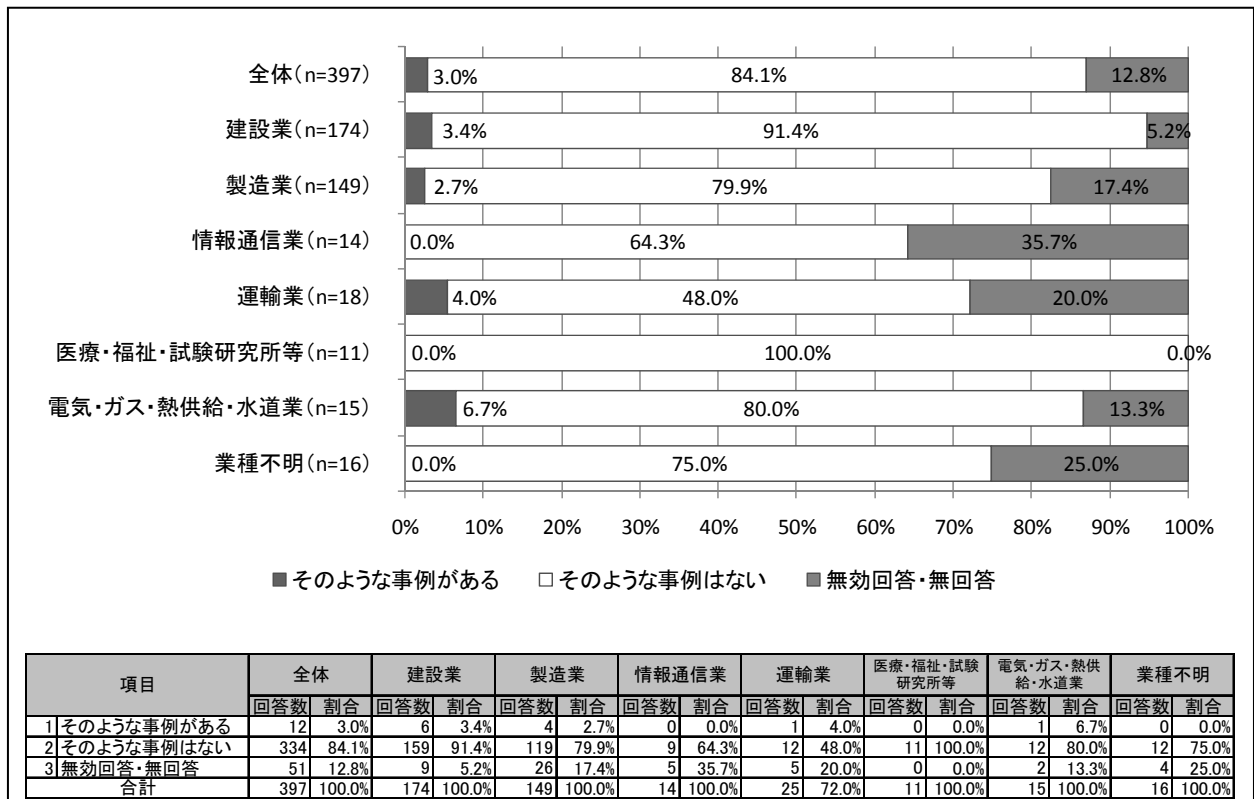


図 18 最終処分終了確認が期間内に行われなかった事例の有無について（業種別）

Q12. Q11 でそのような事例があると回答された方にお聞きします。

その場合、処理業者に対してどのようなアクションをとりましたか？

その結果どうなりましたか（複数回答）

- ◆ 処理委託した産業廃棄物の最終処分終了確認が、期間内に行われなかった事例 12 件のうち、2 件が「委託先の処理業者に確認し、実情の報告を受けた」とのアクションを取っている（10 件が無回答）。その結果、1 件で「改善を確認した」との回答であった。

表 3 処理業者に対するアクション

項目	全体		建設業		製造業		情報通信業		運輸業		医療・福祉・試験 研究所等		電気・ガス・熱供 給・水道業		業種不明	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 委託先の処理業者を変更した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 委託先の処理業者に確認し、 実情の報告を受けた	2	16.7%	1	16.7%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 委託先の処理業者を訪問し、 現地確認した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 無効回答・無回答	10	83.3%	5	83.3%	3	75.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	6	100.0%	4	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%

表 4 アクションをとった結果

項目	全体		建設業		製造業		情報通信業		運輸業		医療・福祉・試験 研究所等		電気・ガス・熱供 給・水道業		業種不明	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 改善を確認できた	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 不法投棄の不適正処理(の 恐れ)が発覚し、適切に対処	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 無効回答・無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

◆ 委託先処理業者の選定について

Q13. 処理業者選定は以下のどの部署で行っていますか？（ひとつだけ）

- ◆ 処理業者の選定を行っている部署については、「本社」との回答が 248 件（62.5%）、「支社・支店」が 10 件（2.5%）、「工場・事業所・現場等」が 90 件（22.7%）となっており、本社で選定しているケースが最も多い。

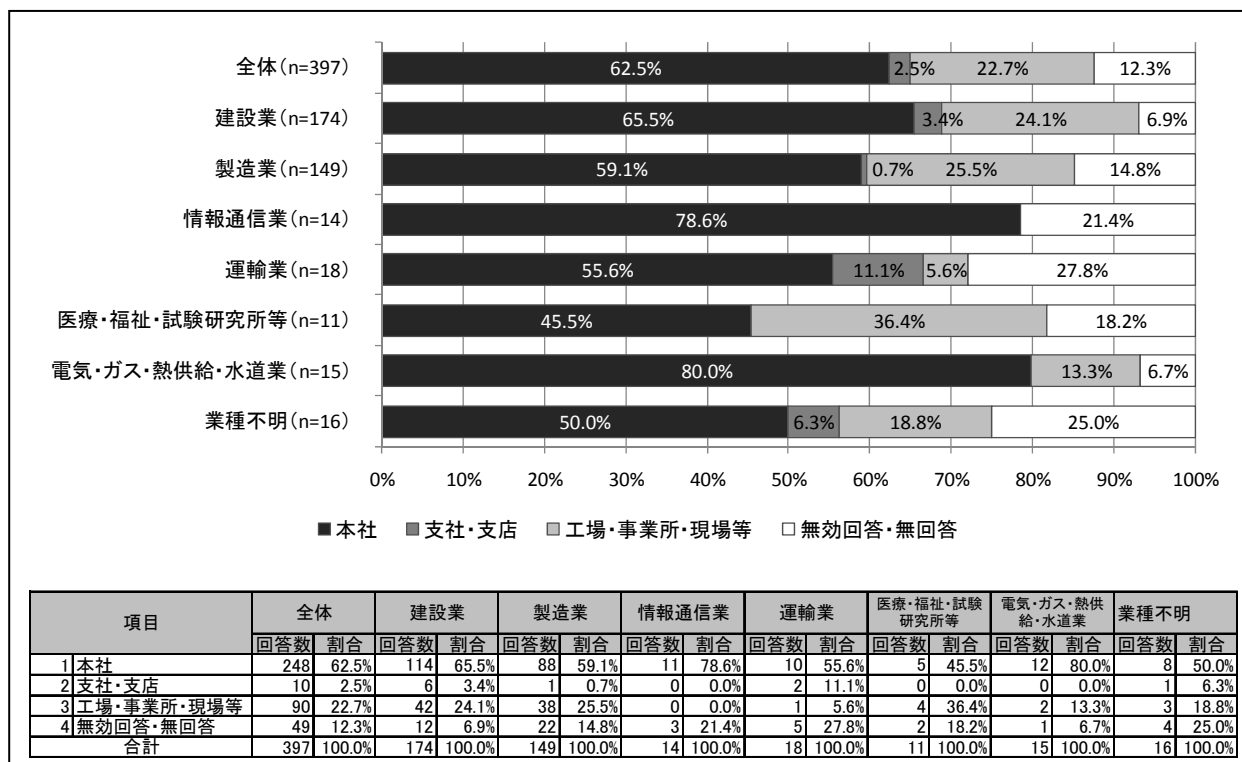


図 19 処理業者選定の担当部署について（業種別）

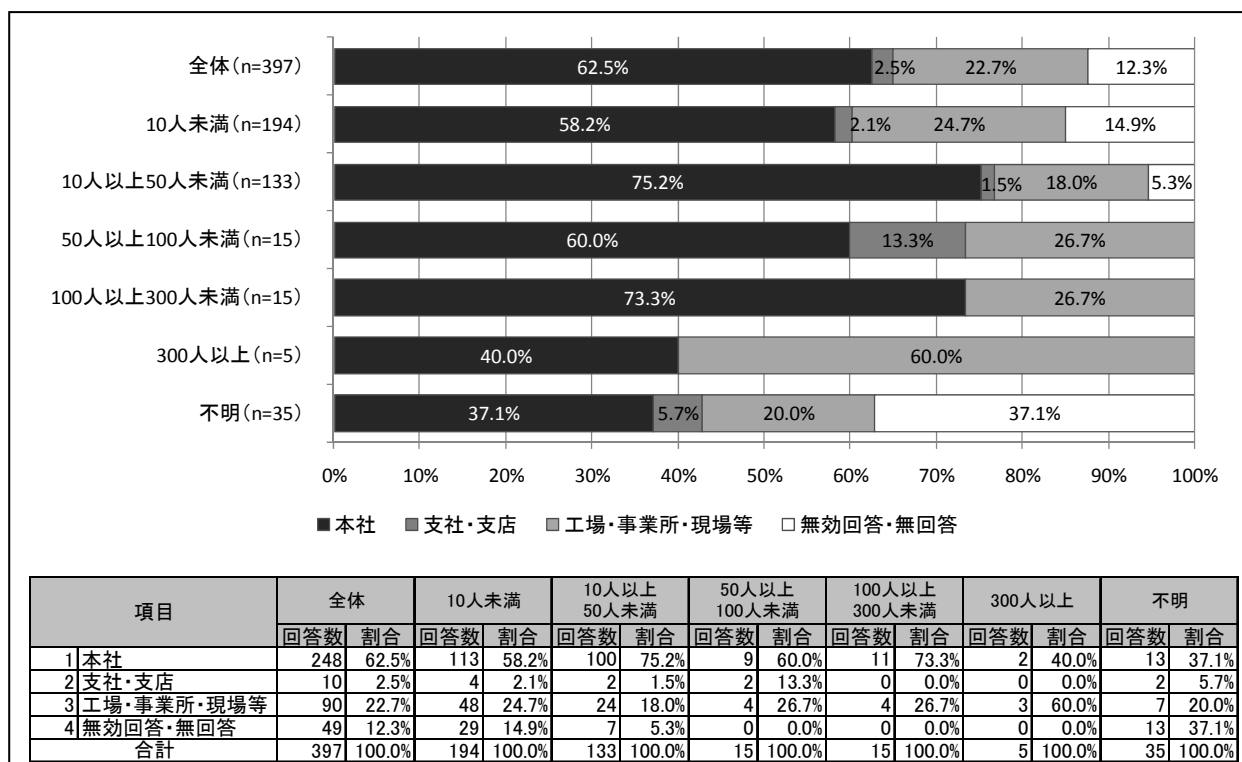


図 20 処理業者選定の担当部署について（従業員規模別）

Q14. 業者選定の社内決定プロセスについてうかがいます。処理業者決定の決裁はどの役職のレベルで行っていますか？（ひとつだけ）

- ◆ 処理業者決定を決裁している役職については、「取締役（理事）レベル」との回答が194件（48.9%）と最も多く、「担当レベル」79件（19.9%）が次に多い。
- ◆ 従業員規模別にみると、「100人未満」までは「取締役（理事）レベル」の回答が最も多く、「100人以上300人未満」では「部・課長レベル」、「300人以上」は「工場長（事務局長）レベル」での決裁が多く、組織規模に応じた決裁権限が伺われる。

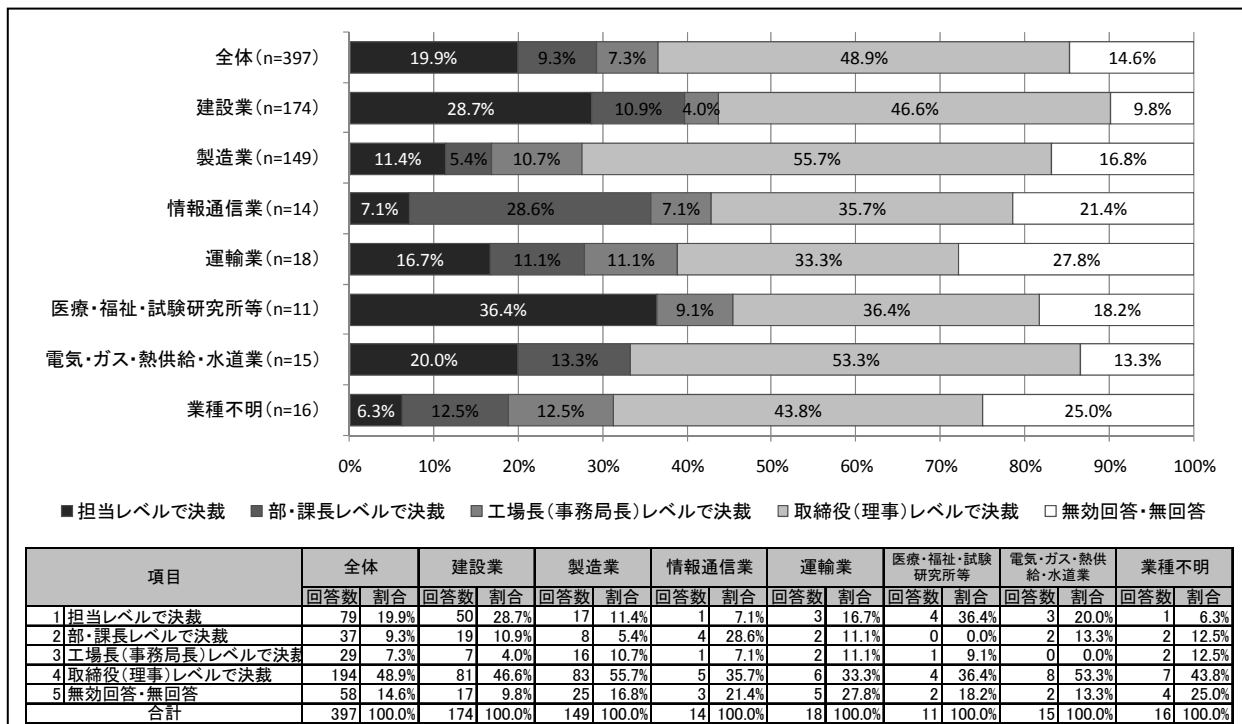


図 21 処理業者決定の決裁の役職レベルについて（業種別）

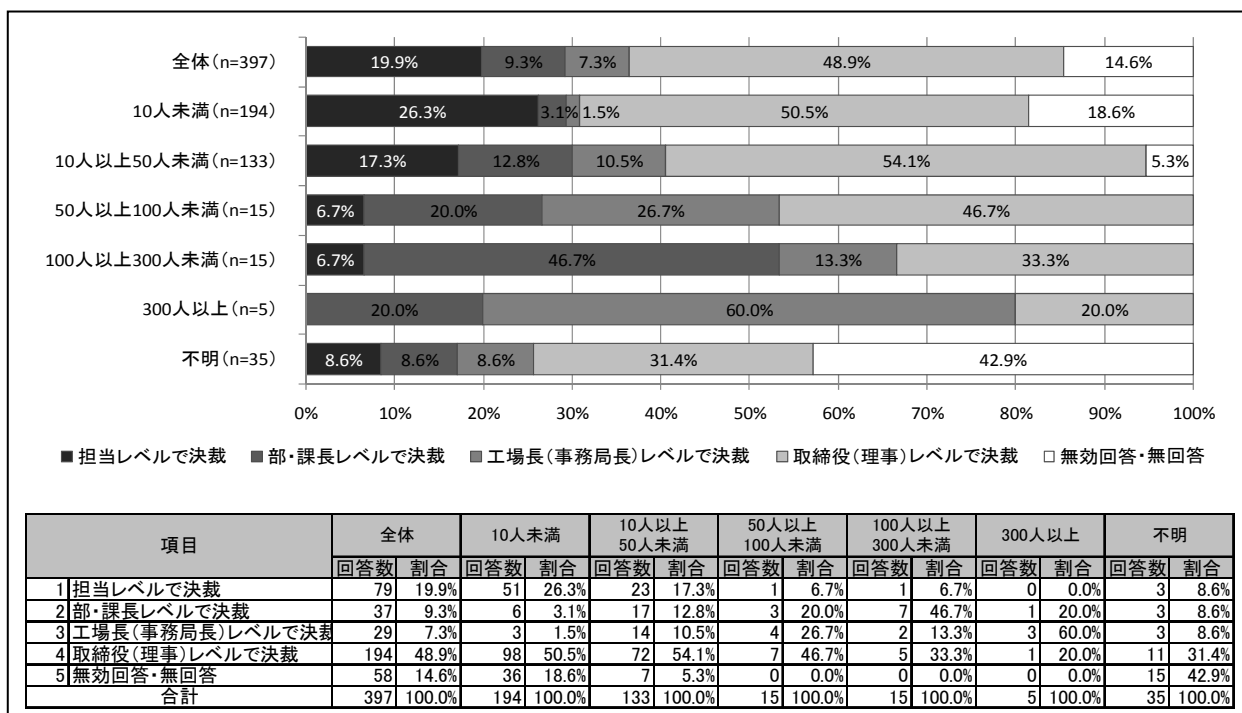


図 22 処理業者決定の決裁の役職レベルについて（従業員規模別）

Q15. 業者選定の際、処理委託の契約1件当たり、委託先候補をおよそ何業者ぐらいリストアップして比較検討しますか？（ひとつだけ）。

- ◆ 委託先候補業者の平均リストアップ数について聞いたところ、「1業者（比較検討しない）」の回答240件（60.5%）、「2業者」の回答94件（23.7%）、まてが多く、「3業者」との回答は16件（4.0%）であった。
- ◆ 従業員規模別にみると、「10人未満」では「1業者（比較検討しない）」が多く、規模が大きくなるほど平均リストアップ数が増える傾向が見られる。

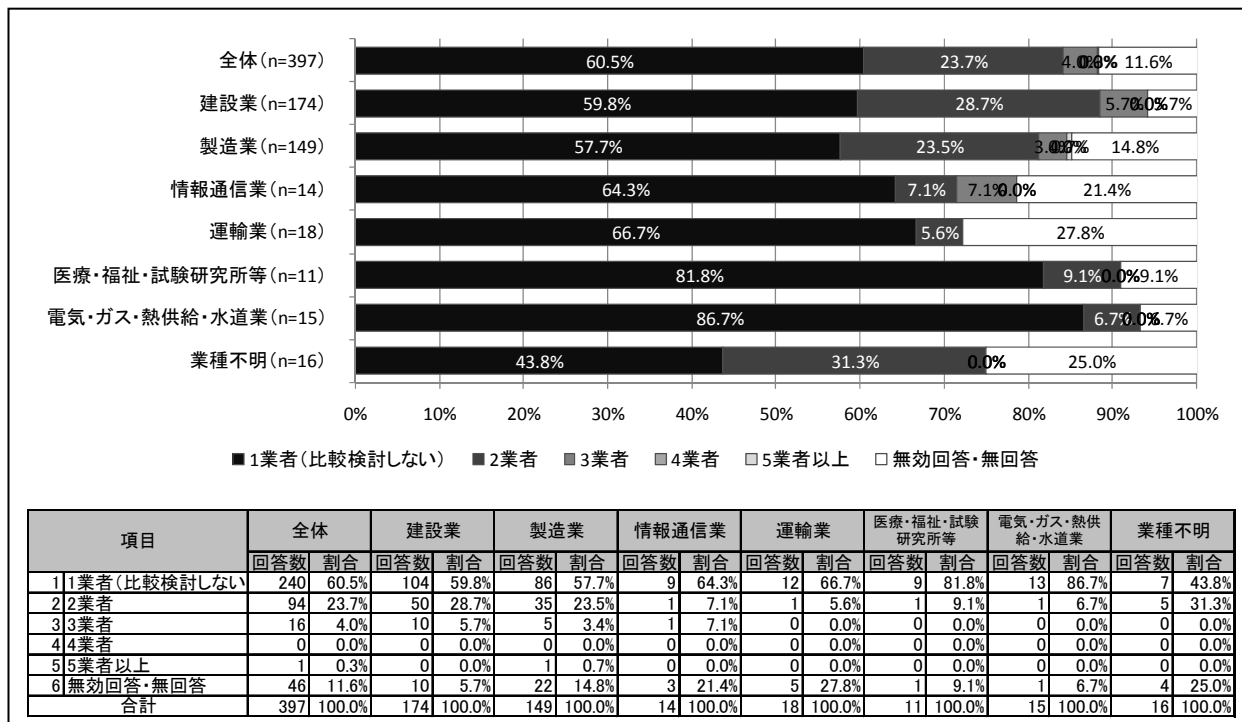


図23 委託先候補業者の平均リストアップ数について（業種別）

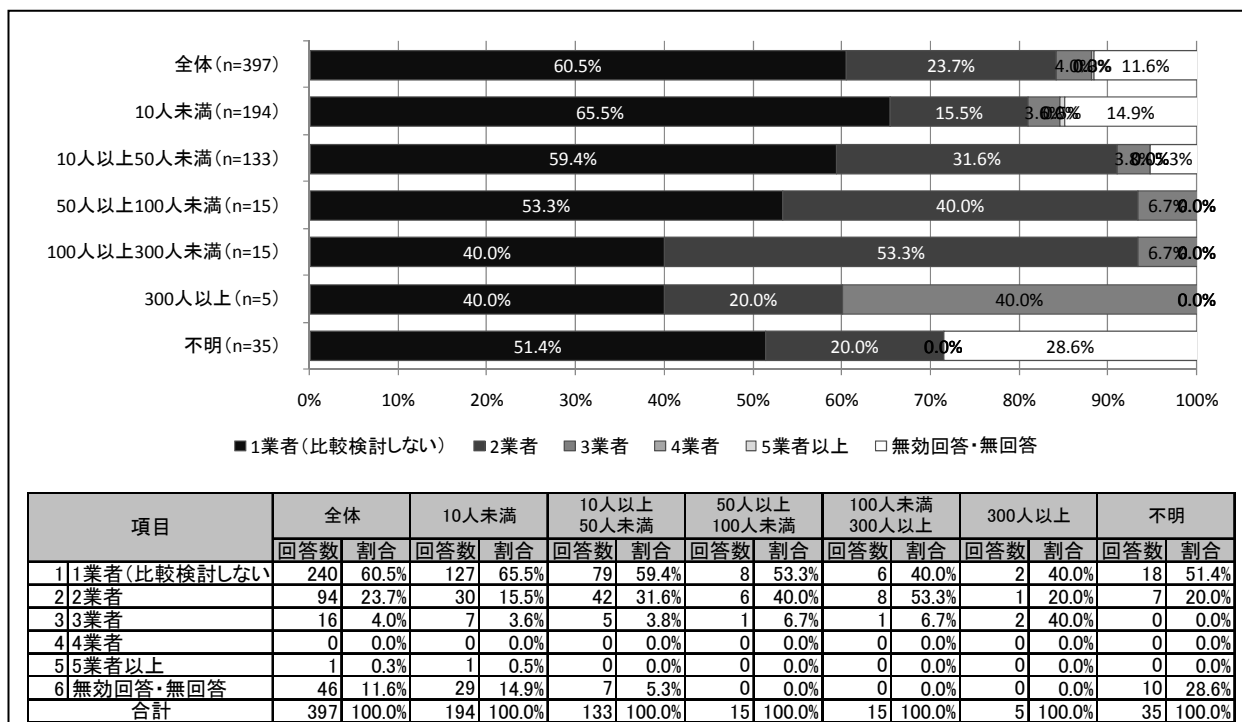


図24 委託先候補業者の平均リストアップ数について（従業員規模別）

Q16. 委託候補先の処理業者の選定の判断材料となる情報源はどこから入手していますか？（複数回答）。

◆ 処理業者の選定の判断材料となる情報源について聞いたところ、特に「処理業者からの営業資料」、「処理業者についての評判（同業他社や地元での評判など）」が多く利用されており、「処理業者のホームページ」、「県産廃協会の名簿」、「現地確認」がこれに続く。産廃情報ネットの優良性評価制度による情報開示の活用度が低いことが伺われた。

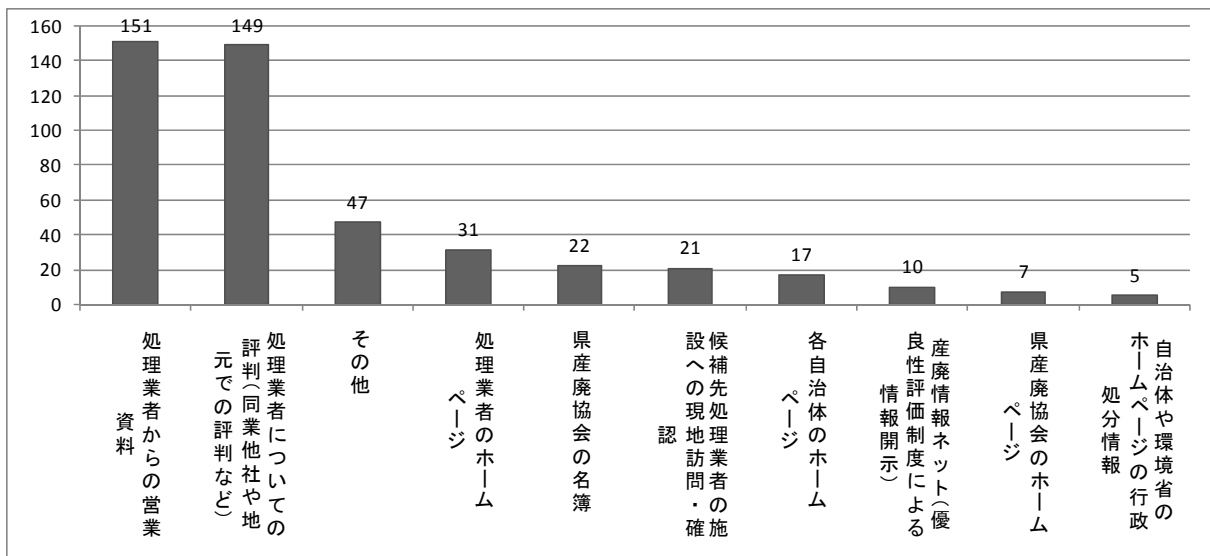


図 25 処理業者の選定の判断材料となる情報源

表 5 処理業者の選定の判断材料となる情報源（業種別）

項目	全体		建設業		製造業		情報通信業		運輸業		医療・福祉・試験研究所等		電気・ガス・熱供給・水道業		業種不明	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 処理業者からの営業資料	151	32.8%	73	33.5%	51	30.0%	5	35.7%	7	53.8%	5	38.5%	7	41.2%	3	20.0%
2 処理業者のホームページ	31	6.7%	9	4.1%	15	8.8%	3	21.4%	1	7.7%	1	7.7%	2	11.8%	0	0.0%
3 自治体のホームページ	17	3.7%	5	2.3%	7	4.1%	3	21.4%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%
4 県産廃協会のホームページ	7	1.5%	4	1.8%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%
5 県産廃協会の名簿	22	4.8%	12	5.5%	7	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	2	13.3%
6 産廃情報ネット（優良性評価制度による情報開示）	10	2.2%	8	3.7%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 処理業者についての評判（同業他社や地元での評判）	149	32.4%	76	34.9%	54	31.8%	1	7.1%	2	15.4%	5	38.5%	6	35.3%	5	33.3%
8 自治体や環境省のホームページの行政処分情報	5	1.1%	4	1.8%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 候補先処理業者の施設への現地訪問・確認	21	4.6%	12	5.5%	7	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%
10 その他	47	10.2%	15	6.9%	24	14.1%	2	14.3%	2	15.4%	2	15.4%	1	5.9%	1	6.7%
11 無効回答・無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	460	100.0%	218	100.0%	170	100.0%	14	100.0%	13	100.0%	13	100.0%	17	100.0%	15	100.0%

表 6 処理業者の選定の判断材料となる情報源（従業員規模別）

項目	全体		10人未満		10人以上 50人未満		50人以上 100人未満		100人以上 300人未満		300人以上		不明	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 処理業者からの営業資料	151	32.8%	65	32.2%	58	35.6%	8	38.1%	8	28.6%	3	23.1%	9	27.3%
2 処理業者のホームページ	31	6.7%	9	4.5%	10	6.1%	3	14.3%	5	17.9%	3	23.1%	1	3.0%
3 自治体のホームページ	17	3.7%	8	4.0%	2	1.2%	2	9.5%	2	7.1%	2	15.4%	1	3.0%
4 県産廃協会のホームページ	7	1.5%	3	1.5%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 県産廃協会の名簿	22	4.8%	10	5.0%	6	3.7%	0	0.0%	3	10.7%	0	0.0%	3	9.1%
6 産廃情報ネット（優良性評価制度による情報開示）	10	2.2%	4	2.0%	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%	1	3.0%
7 処理業者についての評判（同業他社や地元での評判）	149	32.4%	70	34.7%	53	32.5%	5	23.8%	6	21.4%	2	15.4%	13	39.4%
8 自治体や環境省のホームページの行政処分情報	5	1.1%	2	1.0%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	1	7.7%	1	3.0%
9 候補先処理業者の施設への現地訪問・確認	21	4.6%	9	4.5%	7	4.3%	1	4.8%	2	7.1%	0	0.0%	2	6.1%
10 その他	47	10.2%	22	10.9%	20	12.3%	1	4.8%	2	7.1%	0	0.0%	2	6.1%
11 無効回答・無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	460	100.0%	202	100.0%	163	100.0%	21	100.0%	28	100.0%	13	100.0%	33	100.0%

Q17. 業者選定の際に、どのようなことを重視しますか？ 各項目ごとに、重要と考えられる程度についてお聞かせください（各項目ひとつずつ）。

- ◆ 業者選定の際に重視することについて聞いたところ、「重要」との回答は、「処理料金が安価」、「処理能力が十分であること」、「処理技術のレベルの高さ」、「処理業者の評判（住民や行政など地元での評判など）」、「地理的な近さ」、「最終処分までの処理ルート of 明確さ」、「維持管理の適切な実践」、「リサイクルルートの明確さ」、「リサイクル率の高さ」の順に多かった。

表7 業者選定の際に重視すること

項目	重要		まあまあ重要		どちらでもない		あまり関係ない		関係ない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 処理業者の会社規模	79	4.8%	84	5.3%	68	6.5%	70	13.8%	25	11.5%
2 処理技術のレベルの高さ	148	9.0%	101	6.4%	37	3.5%	24	4.7%	11	5.0%
3 処理能力が十分であること	175	10.6%	99	6.3%	26	2.5%	14	2.8%	9	4.1%
4 処理料金が安価	201	12.2%	94	6.0%	21	2.0%	4	0.8%	4	1.8%
5 地理的な近さ	138	8.4%	118	7.5%	41	3.9%	23	4.5%	6	2.8%
6 維持管理の適切な実践	114	6.9%	126	8.0%	51	4.9%	17	3.4%	8	3.7%
7 リサイクル率の高さ	102	6.2%	108	6.8%	75	7.1%	28	5.5%	8	3.7%
8 リサイクルルートの明確さ	108	6.5%	105	6.7%	64	6.1%	33	6.5%	10	4.6%
9 温室効果ガス排出削減の取組	86	5.2%	107	6.8%	71	6.8%	38	7.5%	12	5.5%
10 最終処分までの処理ルートの明確	127	7.7%	110	7.0%	53	5.0%	24	4.7%	10	4.6%
11 ISO、エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証取得	51	3.1%	83	5.3%	103	9.8%	53	10.5%	24	11.0%
12 排出事業者の見学の積極的な受け入れ	40	2.4%	88	5.6%	108	10.3%	57	11.2%	22	10.1%
13 優良性評価制度の情報公開の実施、適合確認	40	2.4%	100	6.3%	98	9.3%	37	7.3%	17	7.8%
14 電子マニフェストへの加入	27	1.6%	61	3.9%	124	11.8%	48	9.5%	31	14.2%
15 コンプライアンスの徹底	70	4.2%	83	5.3%	80	7.6%	31	6.1%	17	7.8%
16 処理業者の評判（住民や行政など地元での評判など）	146	8.8%	109	6.9%	30	2.9%	6	1.2%	3	1.4%
17 その他	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%

Q18. Q15~17による処理業者についての情報収集ならびに委託先の絞込みについて、必要な情報が入手できていると思いますか？（ひとつだけ）

◆ 処理業者の情報収集ならびに委託先の絞込みに必要な情報の入手状況について聞いたところ、「必要な情報は得られている」「まあまあ得られている」を合せて半分弱（52.2%）となっている。一方、「あまり得られていない」、「ほとんど得られていない」で11.8%、「どちらともいえない」が20.9%と少なからずあり、質問方法が抽象的な面があるものの、排出者責任に関する認識不足、あるいは必要な情報を具体的にイメージすることが困難なことが要因と考えられる。

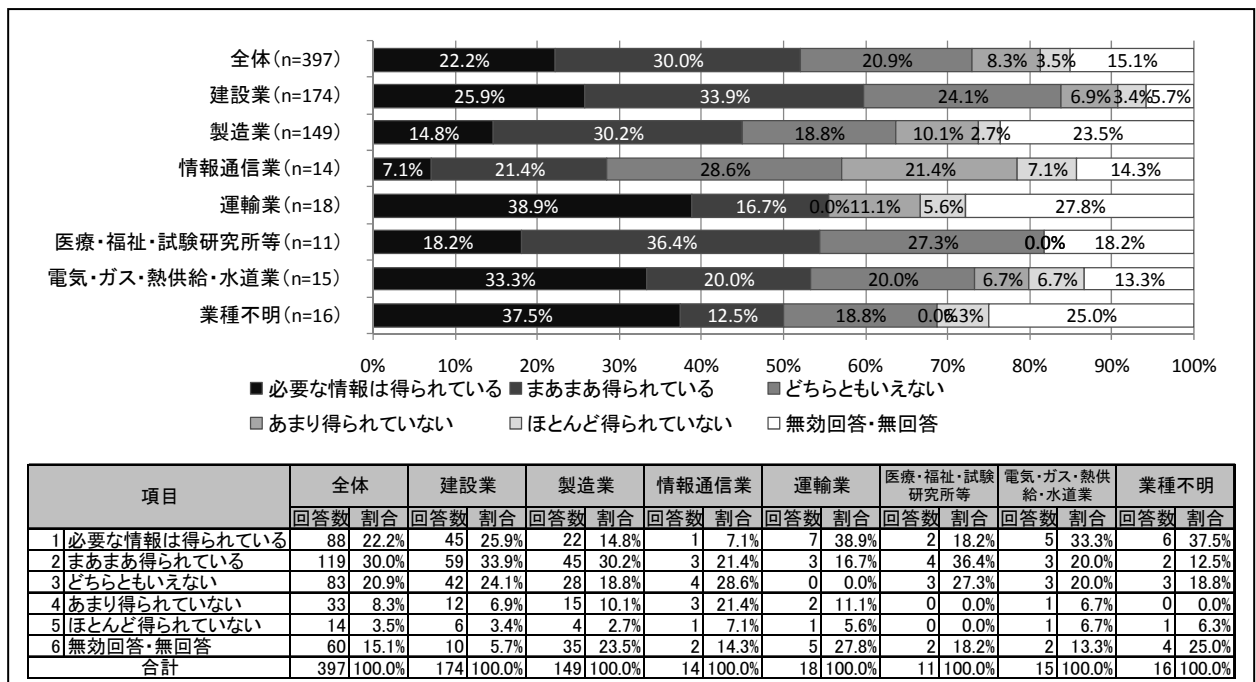


図 26 処理業者の情報収集ならびに委託先の絞込みに必要な情報の入手状況（業種別）

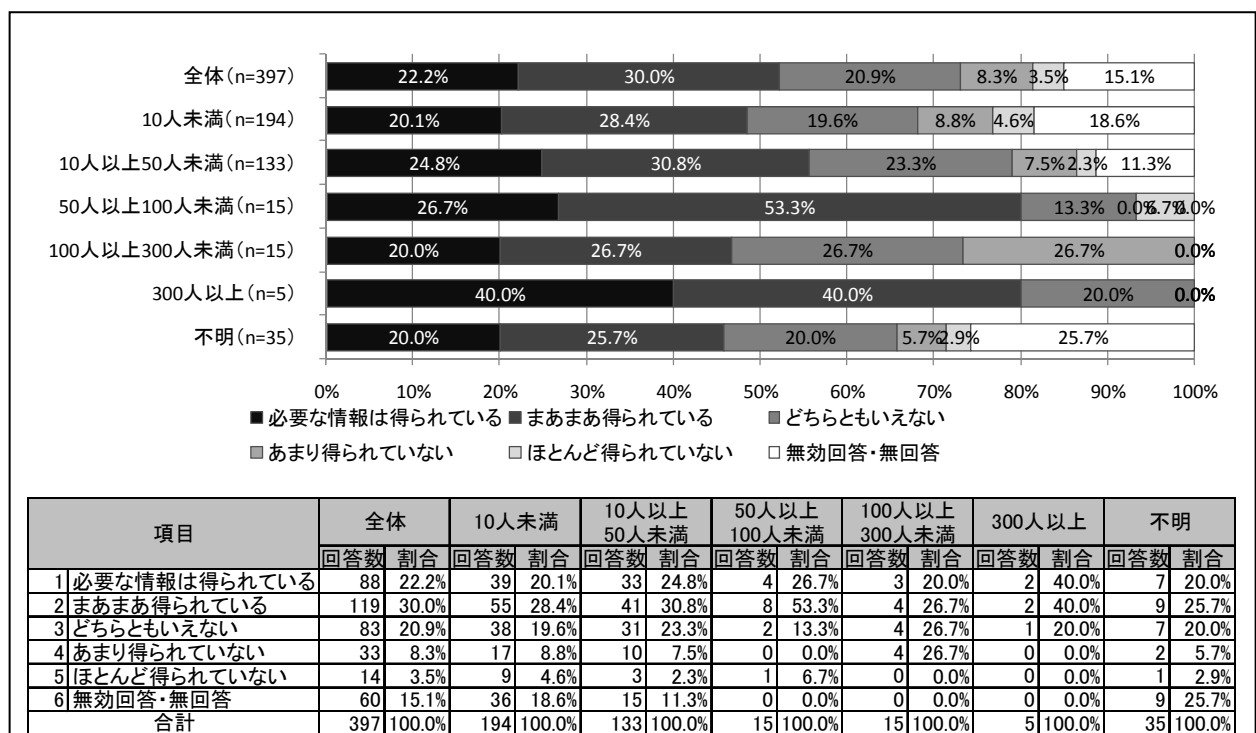


図 27 処理業者の情報収集ならびに委託先の絞込みに必要な情報の入手状況（従業員規模別）



Q19. 処理業者の選定に際して、Q18で2~5の回答をした方に伺います。必要な情報として、どのような追加情報があればよいと思いますか？（自由記述）

◆ 必要な情報について、自由記述で聞いたところ、以下の情報が挙がった。（多い順）

- ①処理業者の検索・情報開示（優良性評価制度周辺の情報含む）（14件）
- ②（第三者からの）情報・処理ルート・現地確認等客観情報（11件）
- ③価格情報（8件）
- ④社報・パンフレット等（7件）
- ⑤行政処分情報（4件）
- ⑥リサイクル情報（2件）
- ⑦その他（12件）

優良性評価制度での開示情報から把握可能な情報も指摘されており、評価制度の活用のしかたが周知されていない可能性が考えられ、評価制度の認知度アップが必要である。また、

- ・より詳細または信頼度が高い情報、特に現地で直接確認しなければ得られない情報など
- ・ランク付け等

の要望もあり、今後の評価制度の高度化等のあり方に係るものも挙げられている。

①処理業者の検索・情報開示（優良性評価制度周辺の情報含む）（14件）

- どこにどういった業者があつて、どういった形態で産廃を受け入れているのか
- 処分（取扱い品目）別・所在地別の情報が探しやすくなってほしい。
- どの業者がどのような廃棄物の処理を行っているかが詳細にわからない
- 公式文書や各種情報誌
- 本当の情報の開示
- 正確な情報が欲しい
- 処理方法
- 処理項目の変更等
- Q17の理由のある項目の内容が良くわかる情報があれば
- ①主な取引先 ②処理能力に対する実際の処理量 ③サンプル許可までの所要時間
- 産業廃棄物の種別が大雑把で判りにくい。パソコンや発泡スチロールなど詳細の情報がすぐ判る様にしてほしい。インターネット上で天気や地図の様に拠点の情報が見れる様にしてもらえれば有難い。
- 運搬業者の紹介で処理業者をある程度決めるが、複数の処理業者が最終処分場が同一場所である場合があるが、その処理能力は数社分確保出来るかが不安です。業者間のつながりが分かれば良い。
- 現在の処理能力の状態など。この先の処理能力について。
- 経営状況。適正な処理が行われているか。

## ②（第三者からの）情報・処理ルート・現地確認等客観情報（11件）

- 業者サイドのカタログ情報に対する実行行動のギャップが現実には有ると見受けられます。ソフトでは無くハードの実行状況に対する、第三者機関による評価報告
- 金融機関のランク付けのようなものがあればよい
- 業者のランク付（公的なもの）
- ミシュランガイドのようなランク付けがあれば良いと思う（第三者機関の公正な評価）
- 処理後の完了通知（第三者）が有るか否か？
- 収集運搬業者ならびに取引先からの情報
- 処理業者が最終的にどう処理したかなどの情報をネット等でなく、排出事業者へ個別に報告されれば良いと思う
- 不法投棄が絶対ないこと。 処理ルートが明確であること（マニフェストへ早い処理）
- 業者ごとの具体的な処置のためのルートマップがあればよりわかりやすいと思います。
- 処分過程及び最終処理形態
- 役所や地元での評判

## ③価格情報（8件）

- 各品目の適正な価格
- 地域の情報とかで処理業者を決めているが、適正な処理代で処理してもらっているか相場がわからない
- 第三者機関により値段とかの適正価格評価
- 価格表があれば選択肢の一つと考えられる
- 明確な処理 明確な価格
- 料金体制がよくわからない
- 月々の鉄の単価など知りたい（処理料）
- 普通の産業廃棄物処理料金はほぼ納得するが、金属くずの処理料金が普通料金の約半額で処理されるのは不満である。このような料金情報がほしい。

## ④社報・パンフレット等（7件）

- 処分場等処理状況をパンフ等で紹介する事が安心感を得られる。
- 各処理業者における処分内容等を説明したパンフレットを公開してもらいたいと思っています。
- 各自治体によるパンフレットの配布。（HPはなかなか見ない。先にパンフレット等で確認した後だったら、HPを見るだろう。）
- テレビ、ラジオ、パンフレット等
- 処理会社の客観的な社報 営業マンからの情報提供
- 処理、結果報告書、製作所見る
- 県内の業者リストを作って発表（同業の紹介によるので処理業者の情報は少ない）

#### ⑤行政処分情報（４件）

- 営業停止等の行政処分情報を、入札の指名願い等を登録している官公庁から電子メールで連絡して欲しい。
- 1)許可取消、行政処分を受けたかどうかと 2)役所との「癒着」 過去に依頼していた業者が突然事業所を閉鎖してしまい次の業者を探すのに大変であった"
- 法令違反などの処罰情報などHPにての公開されること。
- 違反業者の情報

#### ⑥リサイクル情報（２件）

- 再使用（利用）可能処分品の処理（輸出、再販等）
- 産廃の再生率又は再資源化について！どのように利用されているのか。どのようにすれば温暖化防止に役立つのか？又、工場で働く方の希望などがあれば協力したい。処理場の苦労はどのようなことがあるのか。

#### ⑦その他（１２件）

- 他社とのどう取引しているか。
- まじめな業者であるかどうか
- 適正処理をしているかどうか
- 確実な業者 安心な業者 間違いない業者
- そのつど時代の流れについていくか、先をすこしいく程度
- 各々の業者が環境に反しない処理をしていれば良いのではと思っています
- 過積載 安全運転
- 当社の廃棄品は、顧客の数字など入っていたりするがきっちり裁断してもらえれば問題ないので、それさえ確認できればとくに問題ない
- 今現在、処理業者のほしい場所のみでそれ以外会社名もわからないので会社名くらい確認したい
- 工場へ行く。ある程度はわかるがくわしいことはわかりません
- 最終処理業者まで、情報はいらぬと思うので、委託先にまかせてある。
- 管理会社からの紹介なので特に情報がなくても不安に思っていない
- 当社は地方に位置している為処理業者が限られてあまり絞込む必要が無い。
- 村で業者の件数が１件しかないのではわからない
- 当社がもっと情報収集すべきです。
- 現状で良いと思う
- 現在の所今までの情報で良いと思う
- 特になし
- あまり考えたことがない
- わからない
- 自治体のゴミ処理場、下水処理場は結構PRしているが産廃業界のPRはまだ不足気味？今回のアンケートは評価する。
- 最終的に集積したものがどのように処理されているかだけを確認している。

□ 優良性評価制度の認知・活用状況について

Q20. 国（環境省）の制度である産業廃棄物処理業の優良性評価制度を知っていますか？  
（ひとつだけ）

◆ 優良性評価制度の認知度について聞いたところ、「よく知っている」の回答は1.8%、「まあまあ知っている」は9.6%である一方、「名前を聞いたことがある程度」が36.5%、「知らない（聞いたことがない）」が43.6%であり認知度は低い。評価制度の一層の普及浸透が急務となっている。

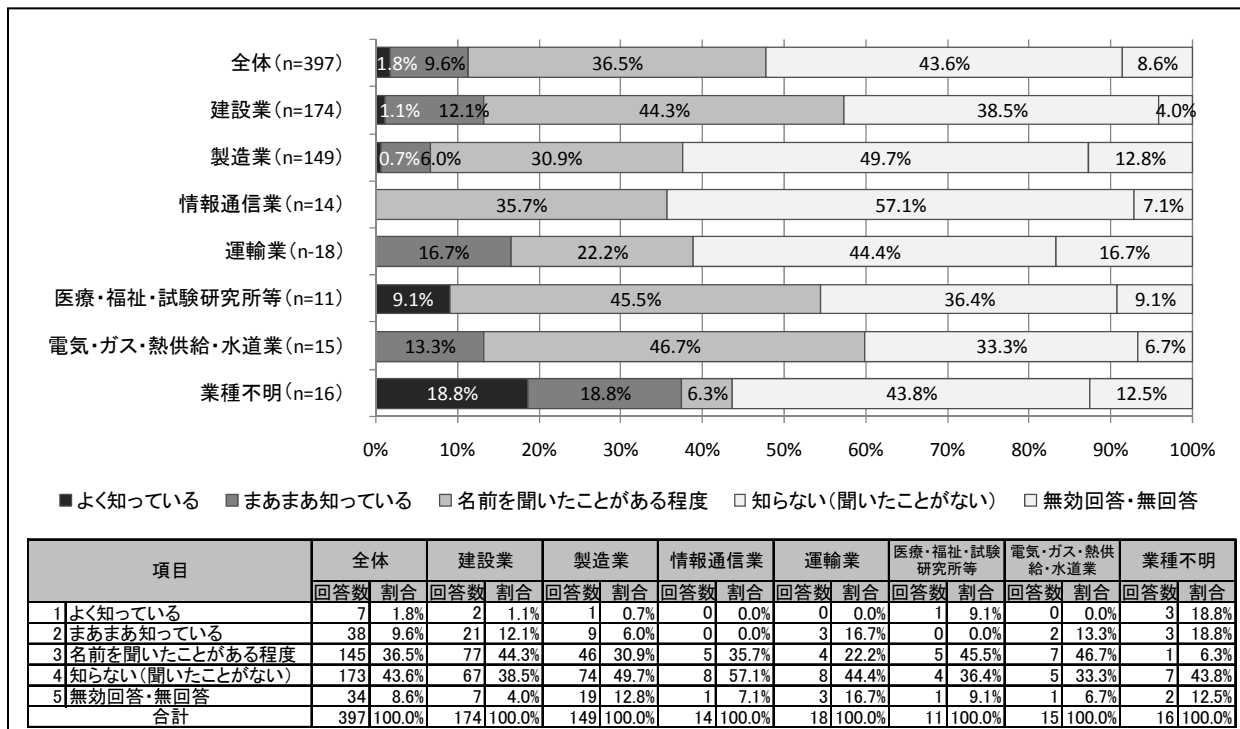


図 28 優良性評価制度の認知度（業種別）

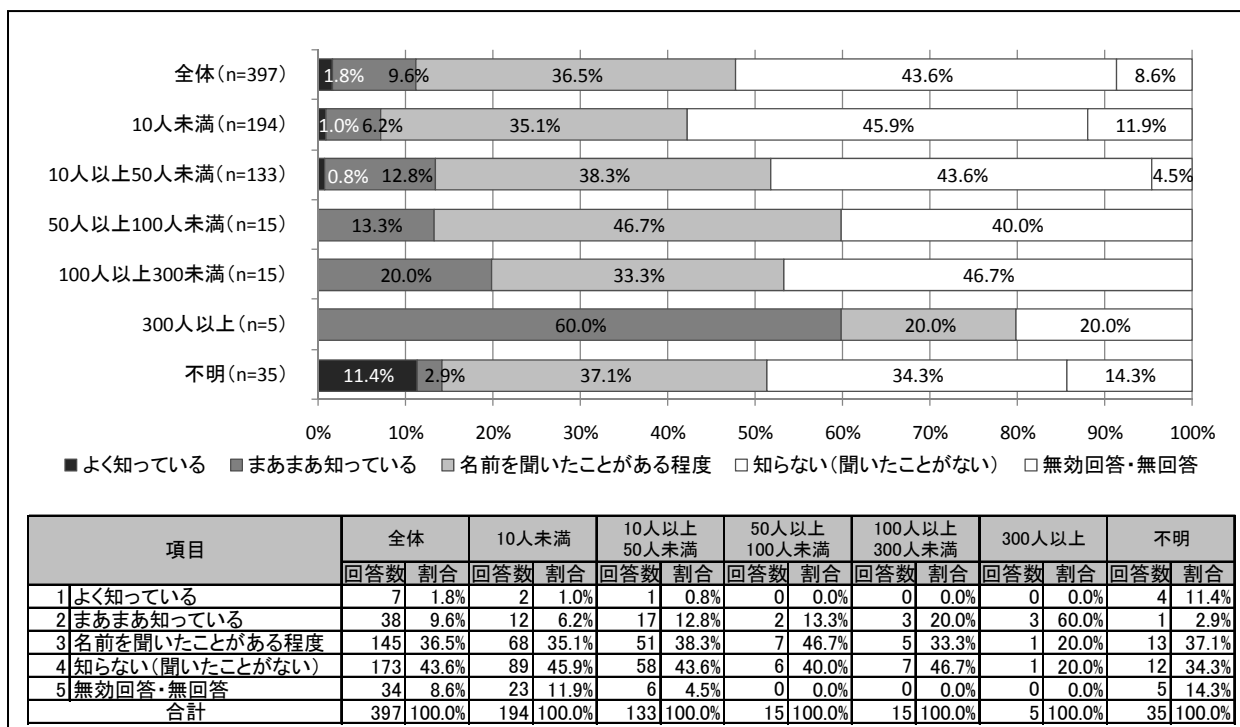


図 29 優良性評価制度の認知度（従業員規模別）

Q2 1. 優良性評価制度に基づく処理業者の公開ネット情報を閲覧したり、適合確認を受けた処理業者を委託先選定作業においてプラス評価するなど、本制度を活用していますか？（ひとつだけ）

◆ 評価制度の活用状況について聞いたところ、「活用している」は10件（2.5%）に止まっており、Q20同様、評価制度の一層の普及浸透の必要性が伺える。

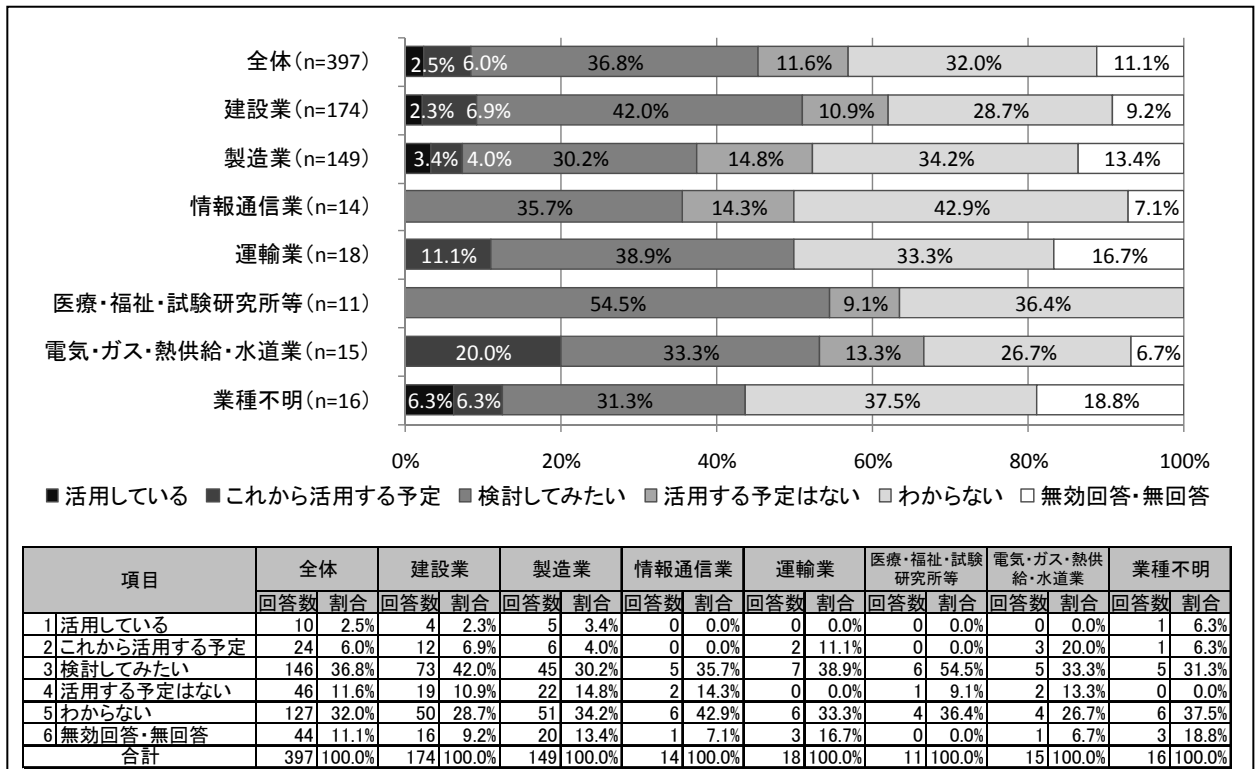


図 30 優良性評価制度の活用状況（業種別）

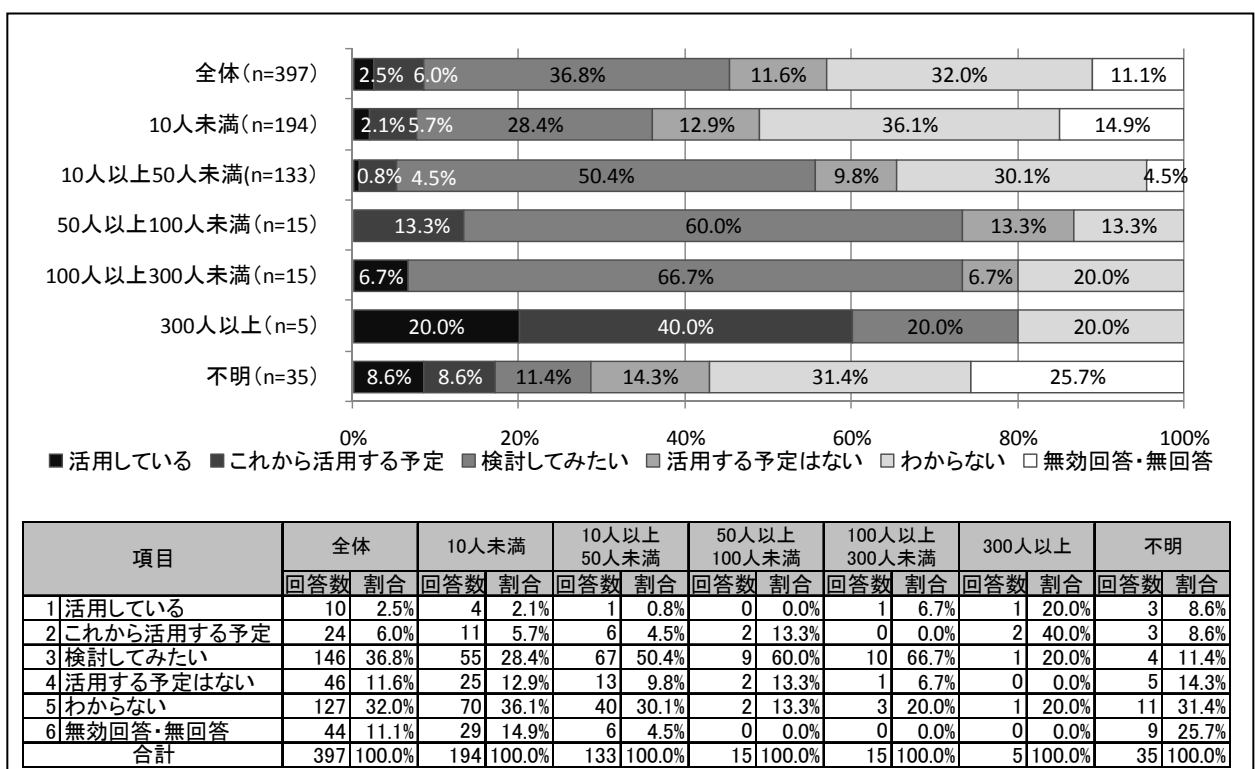


図 31 優良性評価制度の活用状況（従業員規模別）

Q2 2. 現在、貴社が処理を委託している処理業者は優良性評価制度に取り組んでいますか？  
(ひとつだけ)

◆ 現在の委託業者の優良性評価制度への取組状況について聞いたところ、「取引している全ての処理業者が取り組んでいる」は46件(11.6%)、「取引している一部の処理業者が取り組んでいる」は38件(9.6%)である。この一方、「わからない」との回答が258件(65.0%)あり、排出事業者の本制度の活用度の低さが伺える。

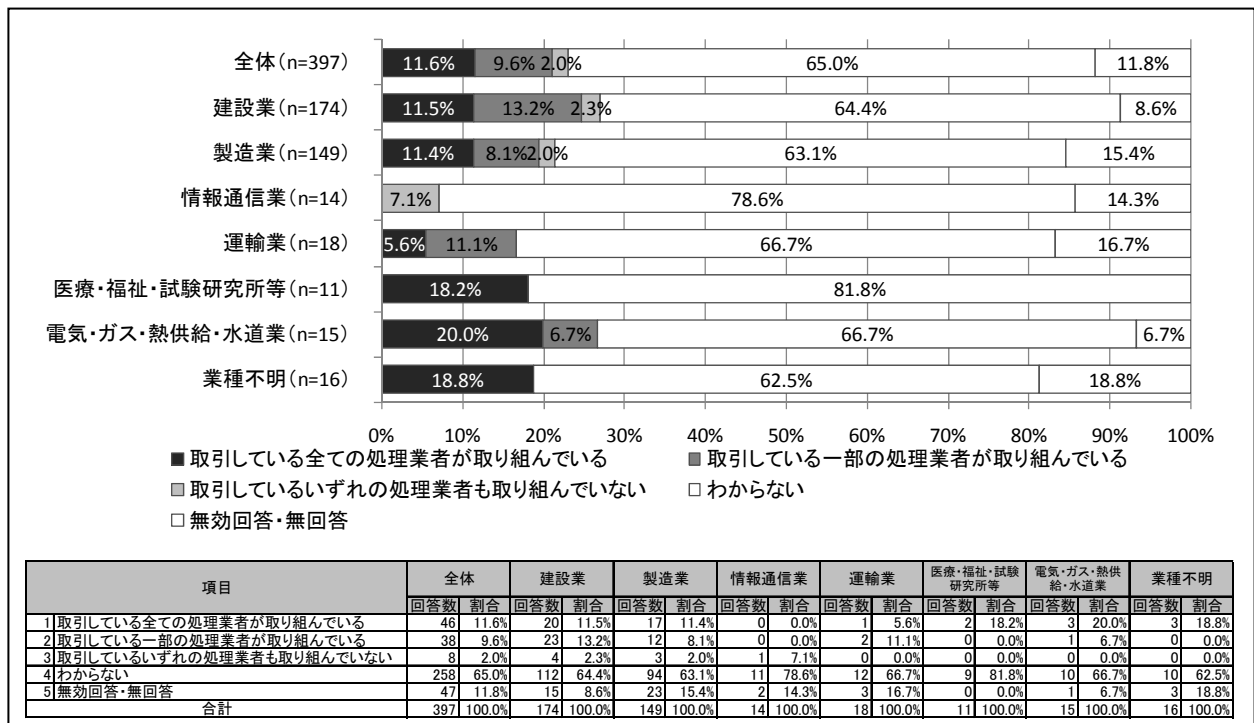


図 32 現在の委託業者の優良性評価制度への取組状況（業種別）

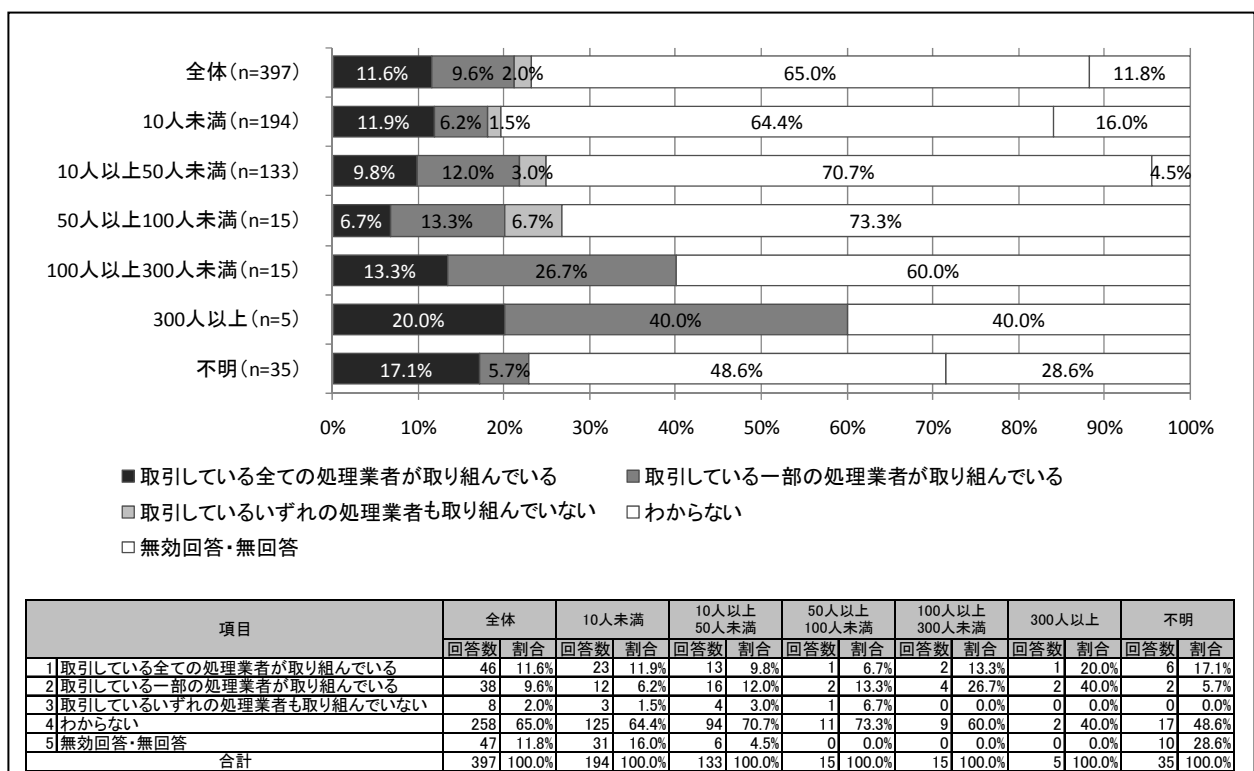


図 33 現在の委託業者の優良性評価制度への取組状況（従業員規模別）

Q23. 産業廃棄物の処理を委託する処理業者に対して、優良性評価制度の取組みを求めていますか？（ひとつだけ）。

◆ 本設問の回答は、これまでの Q20~22 の回答に比べると、より前向きな回答に寄った傾向が伺え、本アンケートを通じて前向きに捉えられた結果と推察される。

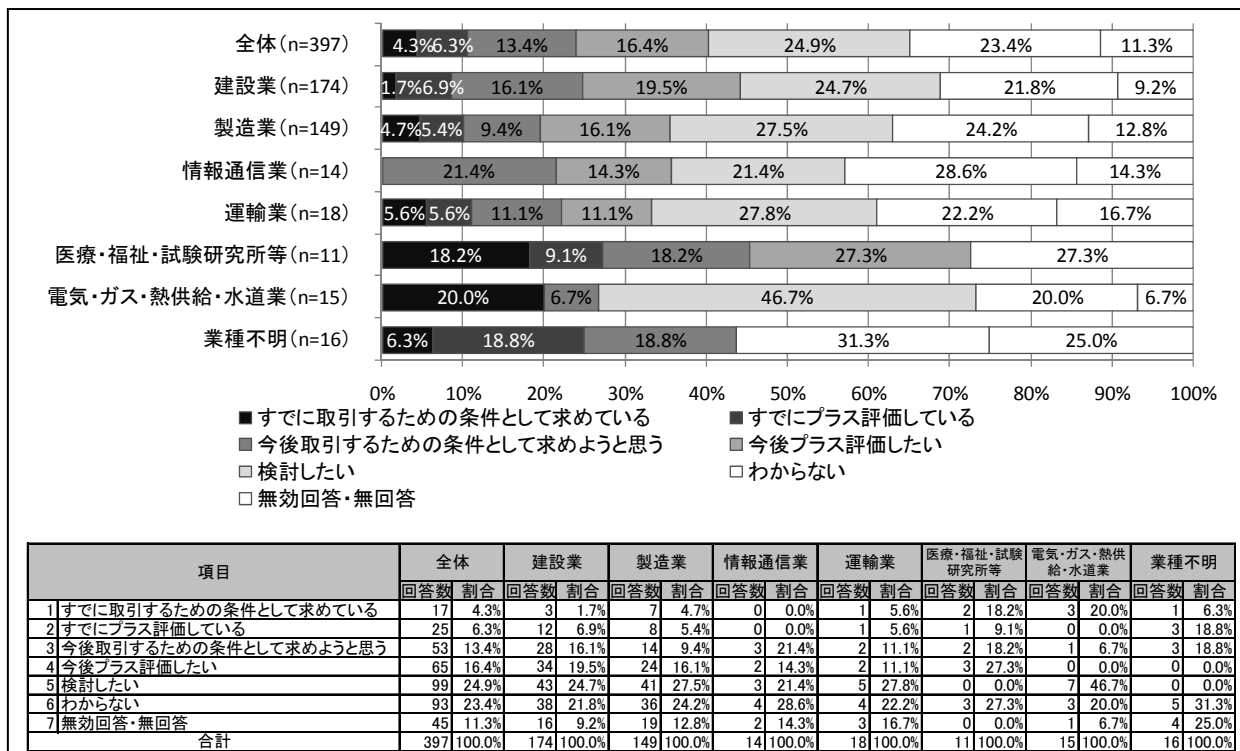


図 34 現在の委託処理業者への優良性評価制度の取組の働きかけ状況（業種別）

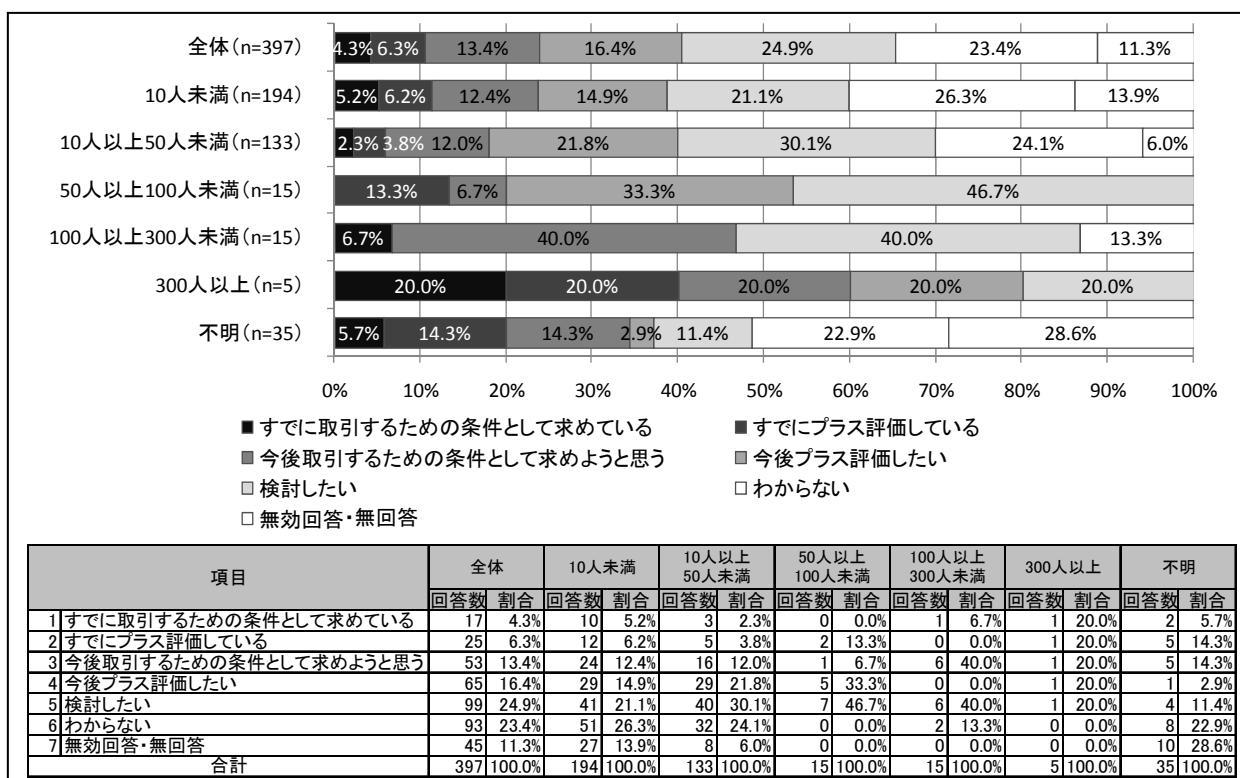


図 35 現在の委託処理業者への優良性評価制度の取組の働きかけ状況（従業員規模別）

Q2 4. 優良性評価制度の情報開示内容や制度について、ご意見、ご要望などがございましたら、ご記入ください。

○ポジティブ意見（15件）

- すばらしい制度がありますので、もっと良い業者又はそれに伴う関係業者様を公表してほしい
- 私の認識不足もあり当制度の存在を知りませんでした。業者任せにしていたのが実情です。今後はもう少し処理業者のことを知っていかなければならないと当アンケートをきっかけに思った次第です。当地域の最大手業者に依頼しており、まかせっきりというが現状です。HPを見てみることにします。
- 「優良性評価制度」についてよく理解、認識しておりませんでした。業者さんに対しては、親の代から頼んでいるので信用しております。今後、このような事を勉強していきたいと思っております。
- 制度は認知していませんでした。すぐに情報を入手し、業者選定の上で、積極的に活用します。
- 今後同制度の主旨、施設等勉強したいと思う
- これから当社も勉強し取り入れていきたい
- この制度自体を知らなかったなので、今後、何らかの参考にしたいと思う。
- 優良性評価制度自体より解らないのでその周知の仕方を考えてほしい
- 地元業者が「優良性評価制度」にどの様に取り組んでいるか又評価はどうか知りたい
- 制度の情報をもうすこしパンフレット、テレビ、ラジオ等で開示を詳しくほしい
- 優良性評価制度についての資料の提供は可能でしょうか
- 当院は歯科医院ですが、歯科医師会等会員を指導する団体に情報を伝達いただきたい。
- 公正な評価になる様システムを構築して下さい
- 不定期の抜き打ち検査をして、結果の情報開示をすること
- そのような制度がある事を知り、安心して任せられ、適正な値段になる事が具体的になると思えました。今後この制度を広く認知させていただき、良い国づくりに邁進されます事を願っております。又、廃棄物処理に関する講習会（出す側として知っておかねばならない事、廃棄物自体と書類の受渡し等）を設けてほしいと思えます。

○ネガティブ意見・制度の未認知（6件）

- 制度は知っていますが利用した事無し
- 初めて聞いた
- なかを見て判断したい
- この様な評価制度の資格を持っている会社でも信用はしません。テレビ等で処理業者のモラルの低さをよく報道しています。（大阪での病院関係の処分業者の件） I



ISO14001などの資格を持っていてもだめです。この様な資格をブランドだと思っている業者が多い。

- 地方では業者数も限られている為、制度があっても利用は少ないのではないか。電子マニフェストはコストがかかる為、検討したが利用していない。電子化は良いと思う。無料にして全て電子化にし、全体を把握した方が良いのでは。
- より安全に処理してもらいたいと思うが、その制度によって処理料金が高値とならないか心配